

第七十四回 帝國議會衆議院

軍馬資源保護法案外一件委員會議錄(速記)第七回

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)
競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案
(政府提出)

(一三一)

會議

昭和十四年二月二十日(月曜日)午後一時三十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事中野 寅吉君
理事大石 倫治君 理事河野 一郎君
森田重次郎君 鈴木憲太郎君

遠山 房吉君 坪山 德彌君

泉 國三郎君 小笠原八十美君

永田 良吉君 陣 軍吉君

池田七郎兵衛君 服部 岩吉君

山崎 常吉君 三木 武夫君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ 陸軍大臣 板垣征四郎君

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林事務局次長 原 邦道君

農林政務次官 松村 謙三君

農林參與官 林 讓治君

農林省畜產局長 岸 良一君

馬政局長官 荷見 安君

馬政局事務官 伊藤莊之助君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

アリマスルカラ、兎ニ角一通リ此ノ方面ノ生産關係ノ事情ヲ申上ゲテ、ソレカラ段々ニ簡條的ノ質疑ニ入りタイト、斯ウ思フノ

ニアリマス、此ノ兩法案ハ第一馬政計畫ノ延長ノ第二馬政計畫、是ノ改變ニアリマシテ、其ノ主ナルモノハ輕種ヲ軍馬トシテ適當ナラズト云フ所ガ、非常ニ大キナ大改變ニナツタノニアリマス、其ノ他ノコトハ從來トハ左程違ハナイト私ハ考ヘテ居リマス、

動物愛トカト云フモノハ、非常ニ強イモノガアリマシテ、是ハ農村ノ美風デモアリマス、先づソレ等ノ例ヲ申上ゲルト云フト、農家ハ住宅ヲ建築スル場合、同一家屋ニ厩ヲ

尙ホ軍馬資源保護法案ニ至ツテハ、吾々ノ要望シタル所ノ最高軍馬制度ノ確立ト見テ然ルベキダト、私ハ考ヘテ居ルノニアリマス、唯問題ハ輕種問題ノ大改變ニ對シマシテ、相當ナ苦心ヲ伴ハナケレバ、此ノ國策

ノ目的ヲ達シ得ルコトハ容易デナイト私ハ考ヘテ居ルノニアリマス、其ノ他ノ事モ運用宜シキヲ得ナケレバ、軍ノ要望スル有能ツタノニアリマス、私ハ重複ヲ避ケル意味ニ於テ簡單ニ申上ゲタイノニアリマスガ、

唯私等東北關係ノ生産地ニ此ノ法案ガ重大ナ關係ヲ有シテ居ルコトトモウ一ツニハアルト思フノニアリマス、仍テ私ハ農村ノ

部ニ瓦ツテ、實際問題ト照シ合セテ、サウシテカリノ御祝ノ御酒ハ附キ物ニアリマス、

度ガ達フノニアリマス、又馬ノ出産ニハ形共ニスルト云フ實情ニアリマシテ、一面農家ノ信用程度モ、馬ノ有無ニ依ツテ其ノ程

メ、馬ノ首ヲ眺メナガラ一家樂シク食事ヲ習デアリマス、サウシテ馬ト同居スル農民ハ、食事ヲスル場合ニモ臺所ニ首ヲ出サシ

テ、馬ノ首ヲ眺メナガラ一家樂シク食事ヲ

メ、馬ノ首ヲ眺メナガラ一家樂シク食事ヲ

度ガ達フノニアリマス、又馬ノ出産ニハ形

バカリノ御祝ノ御酒ハ附キ物ニアリマス、

是ハ孫ヤ子ガ生レタ時ト同様、若クハヨリ

以上ニ御祝ヲスルニアリマス、總テノ環境カラシテ、先祖傳來ノ馬産事業ハ、手放スコトハ出來ナイ狀態ト、一面ニ愛馬心ノ

興ル原因ハ、一切ノ生活モ行事モ馬トノ賣

縁關係が深ク、娛樂ニ付テ見テモ、踊ト云

ノ輕種、其ノ方面ニ吾々モ關係ガアルノデ

テ政府ノ所信ヲ伺ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、先づ他ノ委員カラモ申サレテ居

近頃ハ產馬音頭トカ、愛馬小唄トカ色々來テ、產馬地ノ生徒等マデモ之ヲ謠ツテ居リマス、其ノ他馬ノ市日ニ八年中行事トシテ、卒業間際ノ女學校生徒ガ、見學ヲシテ居リマス、小學校生徒ハ、ピン／＼跳ネル馬ノ中ヲ潛リ潜ケテ、市場ニ入込ンデ、危險ノ爲メ、是ノ整理ニ當ル警官ガ態々派遣サレテ、取締ニ當ラナケレバナラスト云フ状態デアリマス、尙ホ酒ヤ菓子ノヤウナモノニモ馬ノ名前ナドヲ付ケテ居リ、又各部落ニハ馬ノ神様タル御蒼前様ヲ祀ツテ居ルト云フ状態デアリマス、私共ノ青森縣ノ氣比神社——是ハ御蒼前様ノ元締デアリマスガ、是ノ大祭ハ舊曆五月一日ト十五日ニ行ハレマス、此ノ日ニハ近縣ノ參拜者ノ爲メ臨時列車竝ニ増結列車ヲ運轉シ、尙ホ附近町村ノ自動車ハ全部動員サレ、其ノ他乗馬、ソレデモ多數ニ依ツテ尙ホ運ビ切レナイト云フ状態デアリマス、馬產地方ノ產馬組合ノ市場ヲ御覽ニナツタコトノアル方ハ、能ク御分リノコトト思ヒマスガ、軍馬購買官ヨリ軍馬ニ御買上ゲノ聲ヲ聞ク時ニハ、民衆ハ拍手ヲ以テ歡喜スル程、一般的ニ軍馬ヲ生産シタコトハ、恰モ出征軍人ヲ

ハ國防旗ヲ作ツテ、組合管内町村ノ中デ軍馬生産ノ多數ヲ占メルコトニ依ツテ、獲得シテ居ルノデアリマス、尙又馬産地出征兵ガ、如何ニ馬ノ組合ノ状況ヲ知リタイノミナラズ、自分が手ヲ掛けタ種牝馬カラ、ドンナ馬が生レタカト云フコトヲ承知スルコトヲ何ヨリモ樂ミトシテ居ルノデ、馬産家ハ馬ヲ賣ツタ金ノ中カラ僅カヅツ集メテ、產馬ノ状況ヲ繪葉書ニ作ツテ、之ヲ戦地ニ送ツテ居ルヤウナ状態デアリマス、更ニ此ノ農家ノ馬産ニ携ハル者ノ状態ニ付テ其ノ一例ヲ申上ゲマスト、立派ナ軍馬候補馬ニ育成シテ市場ニ出ス二日前ノ出来事デアリマスガ、或ル工事場ノ自動車運轉手ガ、馬産地ニ慣レナイモノデアルカラ、其ノ馬ニ自動車ヲ衝突シ、大腿部ヲ骨折セシメタノデアリマス、此ノ場合ニ警察カラモ、產馬組合側カラモ、其ノ状況ヲ調査ニ行ツタノデアリマスガ、骨折甚シク遂ニ屠殺シナケレバナラナクナリ、村ノ若イ者ガ十人バカリ掛ツテ棒デ助ケナガラ山ヘ運ンダノデアリマス、其ノ場合ニ家族ハ皆泣キ叫ブノデアリマス、ソコデ警察側モ組合側モ、其ノ餘

マシテ、見舞ノ言葉ヲ述ベタノデアリマス、所ガ其一家ノオツ母ア——ソレハ五十
バカリノオツ母アデアリマスガ、金ハ兎モ
角此ノ戦争最中ニ軍馬ニナル馬ヲ怪我サセ
テ、何トモ御國ニ申譯ガナイト、逆ニ詫ビ
ラレタノデ、警察官モ組合長モ涙ナクシテ
此ノ言葉ヲ受取ル事ガ出來ナカツタト云フ
ノデアリマス、然ルニ昨今ハ御承知ノ通リノ
非常ナル諸物價ノ騰貴ヲ見ルニ至リ、之ガ爲
ニ馬ノ價格モ多少ハ吊上ガラレタノデアリ
マスガ、農林省ノ種馬購買價格及ビ競馬協
會ノ購買價格ハ、舊來通り其ノ儘デ、軍馬
ハホンノ少シ許り高價ニナツタト云フ程度
デアリマス、併シナガラ當初ハ此ノ時局柄
デモアリ、農民ハ進ンデ五圓十圓ノ高價デ
牛馬商ニ耀リ取ラレルヨリモ、安クトモ軍
馬ニ賣ルコトヲ喜ブ傾向ガアツタノデアリ
マス、所ガ一昨年ノ狀態デハ、軍馬購買官
モ前年度ノ豫算デアル關係上、到底豫定ノ
頭數ノ購買ハ覺束ナイト云フ各市場ノ實情
デアリマス、ソコデ購買官モ牛馬商ト組合
側トノ協力ヲ求メテ、軍馬ノ聲ヲ掛ケタ馬
結果ニ於テハ生産者ハ多大ナ犠牲ヲ拂ツタ
ニ對シテハ、之ヲ耀リ上ゲズシテ、其處デ

譯デアリマス、是ハ軍需資材ノ供給ノ何レ
ノ方面カラ見テモ、農村固有ノ美德ノ現ハ
レト感ズルモノデアリマス、然ルニ昨年ニ
至ツテ、軍馬ガ一旦検定ノ上ニ札ヲ付ケタ
モノモ、牛馬商ノ希望ニ依リ、又ハ其ノ
他ノ購買者ノ希望ニ依ツテ、耀リ方ヲ讓
リ、他ニ耀リ取ラセタル場合ハ、一頭ノ耀
リ取り價格ハ軍馬購買價格ヨリモ百圓乃
至二百圓以上モ、高價ニ賣レル狀況ニナツ
タノデアリマス、一面農家經濟ヲ見ルニ、
多クノ出征兵ガ出テ居リ、馬ハ澤山徵發
セラレ、漁村デハ多クノ船ヲ徵發サレテ居
ルト云フ狀態デアルニモ拘ラズ、銃後國
民ノ食糧ノ鍵ヲ握ツテ居ル農村漁村民
トシテハ、一段ト努力シテ、平時ヨリ以上
ノ收穫ヲ得ンガ爲ニ、未明ヨリ夜遅クマデ
奮闘努力ヲ續ケテ居ルノデアリマス、更ニ
此ノ馬產ヲ副業トスル經濟狀態ヲ見ル時ニ
ハ、出征軍人其ノ他軍需工場等ニ出稼ギシタ
關係モアリ、馬ヲ飼フ牧夫ハ、一箇年食ヲ
與ヘテ百圓カ百二十圓ガ通例デアツタノガ、
今日デハ、二百五十圓デアリマス、又干草
八倍額トナリ、藁ハ藁工品其ノ他ノ關係デ、
是亦價格ハ倍額トナツタバカリデナク、品
不足ヲ來シ、殊ニ飼料トシテノ麥、燕麥、
稗、大豆等ハ倍額近クニナリ、其ノ他削蹄、

薬品、馬ノ手入道具一切暴騰シ、一面馬ニ
對スル法律命令ハ三百六十以上モアリ、是
等ニ應ズル爲ニ種馬配合検査、仔付検査、
惣馬實査、傳染性貧血症ノ検査、保險ノ檢
査、品評會ダ何ダ彼ダト云ツテ年ニ十五、

六回モ組合其ノ他指定ノ場所ニ曳張り出サ
レルト云フ有様デアリマス、隨テ昨今ノ經
濟狀態ハ愛馬心トカ出征軍馬トカ、古イ歴
史ヲ有ツタ馬產地ノ美德モ、經濟的打擊ノ
爲ニ今ヤ全ク破壊サレントシテ居ル實情ヘ、
此ノ兩法案ノ實施ニ當ツテ見遁スコトノ出
來ナイ重大事デアルト云フコトヲ、先ヅ申
上ゲテ置キタイノデアリマス、政府デハ農
民生活上ノ購買力ノ變動ヲ顧ミズ、生産物
ノ馬ノ購買ニ對スル半ば強制的ナ統制行爲
吾々ガ常ニ主張シテ居ル如ク、政府ハ民間
ノ實際ニ當ツテ居ル者ノ聲ヲ、聞キ誤ラザ
ル馬政方針ノ確立ヲ望シテ已マナニ次第デ
アリマス、是マデ平時ニ於ケル軍馬購買ノ
價格ノ點モ乘馬ハ高價ニ購買サレテ居ツタ
ノデアリマス、此ノ乘馬ノ購買ノ多クハ輕
種產地ニ於テ購買サレタノデアリマス、然
ルニ此ノ新馬政計畫ニ依ツテ輕種ハ軍馬ト

シテ不適當ト斷定サレタノデアリマス、畢
竟スルニ輕種兵器ハ不用トナリ中間種兵器
ト變更ニナツタノデ、政府ニ於テ地域的ノ
役種別ヲ指定シテ輕種兵器ヲ第一期馬政計
畫以來三十箇年、此ノ方面ノ生產擴充ヲ圖
ツテ第一期三十箇年ヲ終リ、第二期馬政計
畫ニ移リ、一二年經タズシテ此ノ改廢ヲ斷
行セラレタノハ、輕種地ニ取ツテハ何トモ
言葉ニ言ヒ現ハスコトノ出來ナイ大衝撃ヲ
與ヘタノデアリマス、併シナガラ之ニ對シ
テハ、御國ノ爲トアルナラバ、理窟ヲ拔キ
ニシテ涙ヲ呑ンデ輕種馬產地ハ國策ニ殉ズ
ルコトニナルノデアリマスルガ、之ニハ種
牡馬、種牝馬ノ改廢、茲ニ是マデ申上ゲタ
農村ノ美德デアル慣習等モアルノデ、自家
デ生産シタ馬ヲ手放サシヌ、國策ニ副フ馬
ヲ手ニ入レサセルタメニハ、其ノ指導等ニ
競争者ガ無ク、獨リ舞臺トナツタ譯デアリ
マス、ソレヲ好イ事ニシテ、種馬購買ニハ
運送馬ニ毛ガ生ヘタヤウナ買方ヲスルノ
デ、現ニ今年ノ種牝馬購買ヲ見テモ九百圓
ダ、一千圓ダ、一千五百圓ダト云フ馬ヲザ
ラニ買ツテ居ル、而モ是ハ四、五歳ノ馬ダ、
荷馬車馬デモ八百圓カラ一千圓モスル場合
ニ、以上ノ如キ買方デアルカラ、優秀ナ種
ノ質ノ良イモノカラ撰定シ、氣候風土ヲ能
ク調査ノ上ニ配置スルコトニ依ツテ、植林

畫サレルト、色々ト實際ニ即セザルモノガ
出來上ルヤウニ思ハレルノデアリマス、先
づ從來ノ例ヲ見ルニ、農林省ニ購買サレテ
ト、種牡馬購買ニ當ツテ二十年前米一升十
五錢ノ時代ヲ今日ト比較シテ、今日ノ種馬
購買ハ、馬ハ相當ニ發達シタニモ拘ラズ、ヨ
リ安ク買ハレテ居ルト云フ狀態デアル、二
十年前アタリハ農村モ相當ニ豐カデアリ、
農村部落ニ於テモ種牡馬ヲ購買シ、自由ニ種
付ノ配合ヲヤツタノデアリマス、隨テ種牡馬購
買ニ對シテモ農村馬團體或ハ縣トカ郡トカ
ガ國ト爭フ程ノ狀況デアツタガ、逐年農村ガ
疲弊シ來リ、昨今デハ農村ニ於テ農林省或
ハ組合ヨリ助成ヲ仰イデ、種牡馬ヲ購買シテ
居ル狀態デアリマス、隨テ農林省購買ニハ
競争者ガ無ク、獨リ舞臺トナツタ譯デアリ
マス、ソレヲ好イ事ニシテ、種馬購買ニハ
シテ現在何頭ヲ所有スルカラ考フル時ニ、
心窺ニ憂フベキモノガアルデハ、ナイカト
ノ方針ニ基ク種牡馬ハ何頭ヲ要スルカ、而
思フノデアリマス、種馬統制法デハ種牡馬。
種牝馬ト云フケレドモ、是ハ仔ヲ產ムモノ
ヲ種牝馬トシタノデ、種ヲ產ム爲ノ種牝馬
デハナイト思ハレル、唯多クノ中カラ出產
シタモノノ中、優秀ナモノヲ種トシヨウト
云フ心構ヘトヨリ見ラレナイ、森林ノ種苗
デサヘモ三十年以上ノ樹ヲ種木トシテ、其

コトノ出來ナインハ、火ヲ賭ルヨリモ明カ
デアル、尙ホ今後ハ種牡馬購買ハ農林省一
ヅ從來ノ例ヲ見ルニ、農林省ニ購買サレテ
ト、種牡馬購買ニ當ツテ二十年前米一升十
五錢ノ時代ヲ今日ト比較シテ、今日ノ種馬
購買ハ、馬ハ相當ニ發達シタニモ拘ラズ、ヨ
リ安ク買ハレテ居ルト云フ狀態デアル、二
十年前アタリハ農村モ相當ニ豐カデアリ、
農村部落ニ於テモ種牡馬ヲ購買シ、自由ニ種
付ノ配合ヲヤツタノデアリマス、隨テ種牡馬購
買ニ對シテモ農村馬團體或ハ縣トカ郡トカ
ガ國ト爭フ程ノ狀況デアツタガ、逐年農村ガ
疲弊シ來リ、昨今デハ農村ニ於テ農林省或
ハ組合ヨリ助成ヲ仰イデ、種牡馬ヲ購買シテ
居ル狀態デアリマス、隨テ農林省購買ニハ
競争者ガ無ク、獨リ舞臺トナツタ譯デアリ
マス、ソレヲ好イ事ニシテ、種馬購買ニハ
シテ現在何頭ヲ所有スルカラ考フル時ニ、
心窺ニ憂フベキモノガアルデハ、ナイカト
ノ方針ニ基ク種牡馬ハ何頭ヲ要スルカ、而
思フノデアリマス、種馬統制法デハ種牡馬。
種牝馬ト云フケレドモ、是ハ仔ヲ產ムモノ
ヲ種牝馬トシタノデ、種ヲ產ム爲ノ種牝馬
デハナイト思ハレル、唯多クノ中カラ出產
シタモノノ中、優秀ナモノヲ種トシヨウト
云フ心構ヘトヨリ見ラレナイ、森林ノ種苗
デサヘモ三十年以上ノ樹ヲ種木トシテ、其

ノ目的ヲ達スルト云フノデアリマス、況ヤ
馬ハ種馬ヲ選定スル上ニ於テハ、國家デ牧
場ヲ持ツテ嚴選主義ヲ執ツテモ、尙ホ優等
ナル種牡馬ハ揃ハズ、相當ニ不足ヲシテ居
ルノデアル、此ノ場合ニハ民間ヨリノ種馬
購買ニ對シテハ、先ヅ種牡馬ヲ選定シ、是
ガ飼養管理ヲ監督シ、配合ノ宜シキヲ得テ、
一面ニ相當額ノ助成ヲ與ヘテヤツテモ、種
牝馬一代ニ對シ候補牝馬ノ一二三頭ヨリ生
産シナイト云フ状態デアリマスカラ、是等
ノ經濟状態ヲ篤ト調査ノ上、獎勵ノ意味ヲ
含メテ、相當ナ購買價額ヲ増額シテ、先ヅ
良イ種ヲ揃ヘルト云フコトニナラナケレ
バ、此ノ二法案ノ完成ハ覺束ナイト考ヘテ
居リマス、殊ニ我國特有ノ產馬方針ヲ確立
シタル内地馬政計畫、竝ニ満洲國ニ移植ノ
計畫ガアリ、尙ホ外國輸入ハ諸外國ノ事情
ニ依ツテ、不可能ナル現狀デアルニ於テハ、
特ニ優秀ナル種馬ノ生産ニ、一段ノ努力ヲ
拂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、
然ラザレバ此ノ法案ハ實行不可能デアリマ
ス、何トナレバ此ノ國策ニ協力シヨウトシ
テモ、規格ニ當嵌ツタ種馬ノ配給ガ出來ナ
イカラデアリマス、此ノ種牡馬政策ガ相當
犠牲ヲ拂ツタニシテモ、七千五百頭ノ優秀
ナ種牡馬ヲ一日モ早く完備スルコトニ依ツ

テ、之ニ比例シテ良馬ノ生産ヲ得ルコトハ、是亦當然ナコトデアリマス、此ノ優良馬生産ニ依ツテ負擔力、輓曳力、持久力ノ増加ヲ見ルノデ、隨テ農畜關係竝ニ馬利用ノ方面デ、經濟的調和ヲ得ルコトヲ得、一面ニハ國防上軍所要ノ馬ヲ全ク粒揃ヒニ整備ノ目的ヲ達シ得ラルノデアリマス、我ガ日本國內ニ於テ地域カラ見テモ、牧野關係カラ見テモ、又經濟關係ヲ考ヘテモ、徒ニ數ヲ増加スルト云フコトハ不可能デ、ヤハリ粒ヲ以テ揃ヘルト云フコトハ、今回ノ馬政國策上見逃シテハナラナイト考ヘル者デアリマス、更ニ馬ニ對スル指導ノ方面カラ考ヘル時ニハ、乘馬、輓馬、小格輓馬等ノ一定ノ規格ハ、如何ナル文字ヲ使ツテモ現ハシ得ナイノデ、實物ニ當ツテ指導スルノガ驗ニ徵シテ極メテ明瞭デアリマス、隨テ種牡馬ノ選定ハ此ノ方面カラ見テモ、此ノ兩法案ノ目的達成ニ重要ナ役割ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、忘レテハナラヌノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマス、次ハ軍馬購買ニ付テ、斯ノ如キ物價ノ騰貴ニ依リ馬ノ生産經濟モ周圍ノ事情ニ伴ハレテ昂騰シ、如何ニ馬產地方ノ美德ナル愛馬心デモ、ドウニカ經濟ノ保タレテノ

事デアリマス、馬ノ方バカリ經濟的ナ方法ヲ考ヘテモ、農民周圍ノ諸物價ノ統制ガ圓滿ニ行カナケレバ、馬ノ生產力擴充モ、國防上ノ軍所用ノ優能馬充實モ、覺束ナイノデアリマス、從來ハドウヤラ總テノ點ニ於テ經濟ガ保タレタカラ、多大ナ犠牲ヲ拂ツテマデ、御國ノ爲ニ軍馬生産ニ努力シタノ騰ニ對シ、殆ド行詰リヲ生ジテ居ルノデアリマス、ソレデモ朴訥ナル農民ハ此ノ場合デアルカラ苦痛ヲ訴ヘルコトナク、政府ヲ信賴シテ御方針ニ從フノデアルガ、併シナガラニ、三年前ノヤウニ、經濟的遣縹ノ付クコトヲ豫想シテ、今後モ從來通リノ政府ノ方針デアツチハ非常ナル政治ノ缺陷ヲ生ズル慮ガアルノデアリマス、同ジ軍馬ト申シマシテモ乘馬、輓馬、小格輓馬、輶重駄馬ガアリ、是等ノ中デ利用方面ノ多イ小格輓馬式ノモノハ兎モ角トシテ、乘馬ニ地域的役種別ノ指定ヲサレタ場所ニ於テハ、眞ニ軍用ノミニ適當デアツテ、軍馬ノ購買ヨリ振落サレタルモノハ、砲銃兵器ノ検査ハグレト同様、慘メナ値段デ處分シナケレバナラヌノデアリマス、而モ乘馬ハ飼養管理費モ相當多額ヲ要シ、尙ホ從來ノ例ヲ見ルニモ、軍馬ノ生產目的ニ、假リニ四千頭

ヲ種付ケヨシ、其ノ仔ガ市場ニ現レル時ニ、最モ成績ノ好イ所デ種付數ノ半分ヨリ市場ニ現レズ、ソレヨリ軍馬ハ多クテ一百頭ヨリ選定シナイト云フコトニナリマス、隨テ軍馬購買ヲ目標トシテ種付シタル四千頭ノ馬ハ、一頭ヅツ軍馬生産ニ廻ハリ當テルニハ、二十箇年ニ一回軍馬購買ノ目的ヲ達シ得ラレル譯デアリマス、隨テ軍馬購買ノ價格ハ普通馬ヨリ相當増額デナケレバ、軍ノ要望スル馬ハ農家經濟ヨリ見テ、生産不可能デアルト思フノデアリマス、農民ハ經濟的ニヘタバルマデオ上ノ命ニ從フモノデアルガ、併シ一旦ヘタバツタラ、オ上ノ力デモ容易ニ起スコトノ出來ナイト云フコトヲ、御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、軍用馬トシテ輓馬、小格輓馬デアツテモ、普通農村デ使役ニ簡易ナ馬格ヨリハ、相當ニ軍用ニ傾イタ馬政ノ方針デアルカニ、國防上ノ見地カラ、馬政計畫ノ此ノ二法案ノ總ベテノ方面ニ、相當ナ保護ヲ加ヘルベキデアルト思フノデアリマス、隨テ今回ノ取引改善ノ調查モ、民間ノ現情ト照シ合セテ、慎重ヲ期スペキデアルト思フノデアリマス、現ニ段段馬カラ牛ニ轉向スル者ガ出來ルト共ニ、兵務局長ノ御講演ニアル通り、軍馬ノ購買ニ對シテモ、餘リニ植段ガ違ヒ過ギル爲ヌ

カ、之ニ應ズルヲ喜バザルノ傾向ヲ述リツ
ツアルコトハ、餘程御研究ヲ要スル問題デ
アリマス、併シナガラ吾々民間側トシテハ、
馬匹ノ暴騰スルコトヲ徒ラニ好ムモノデハ
ナイ、殊ニ馬産ノ源泉タル生産者方面ニ
バ政府ノ購買頭數ハ、生産馬頭數ノ一割乃
至一割五分デアリマシテ、アトノ大部分ハ使
役地タル農家方面其ノ他ニ販賣サレルノデ
アツテ、是等ノ得意先ニ農畜關係其ノ他馬ノ
利用ニ使役スルノデアツテ、即チ生産馬ハ
此ノ得意先ニ依ツテ消化セシメルノデアルカ
ラ、此ノ消化ニ對シテハ經濟的ニ永續ヲ希望
シ、併セテ國防上ノ充實ヲ期スルノデアリ
マス、依ツテ使役地ノ生産物ノ價格ヤ、運
送馬力ニ依ル昨今ノ收益ノ度ヲ能ク調査シ
テ、之ニ對應スル價格ノ馬値段ヲ定メルベ
キモノト信ズルノデアリマス、是等ノコト
ハ生産者側ハ百モ二百モ承知ノコトナレド
モ、斯ノ如ク物價騰貴ノ狀態デハ持切レナ
クナツタコトハ、篤ト此ノ二法案ノ出發ニ於
掛ケテ馬政ノ憲法トシテ、國民ニ馬政ノ嚮
所ヲ示シ、一、二年經タズシテ掌ヲ返ス

ガ如キ大改變編ヲ、多クノ同一ナ役人ニシテ
之ヲ行フト云フコトニナレバ、前途ニ轉タ
不安ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、此
ノ法案ノ實施ニ當リマシテ前途ヲ明確ニシ
タイ爲ニ、御尋スルノデアリマス、尙ホ農
村ハ國家全體ノ動員ニ依ツテ、必要ナル場
合ガ到來シタ既ニハ、何時デモ馬ヲ只デデ
モ御國ノ爲ニ差上ゲル用意ノアルコトヲ、
申上げテ置キタイ、ト同時ニ如何ナル美名
ノ下ニアラウトモ、唯馬ノ價格ノミヲ事變
ノ犠牲ニスルト云フ農村ノ行爲ガアツテハ
ナラヌノデアリマス、以上申述ベマシタ諸
點ニ關シテ、詳シク御説明ヲ御伺致シマシ
テ、更ニ細部ニ亘ツテ質疑ヲ試ミタイト思
ヒマス

○荷見政府委員 第一ノ輕種ヲ軍馬ニ使用
セザルコトニ馬政計畫ヲ立テマシタハ、是
ハ陸軍ノ要望ノ結果ニ依ルノデアリマスカ
ラ、私ノ方カラ其ノ點ダケ申上げテ置キマ
ス、ソレカラ種牡馬ノ選定ニ付キマシテ
ノ價格ニ付キマシテモ、昭和十三年ノ秋カ
ラ一回引上ラシ、尙ホ昭和十四年ノ初ニ於
テモ、再び其ノ引上ヲ致シテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ種牡馬ノ選定ニ付キマシテ
ハ、優良ナル種牡馬ノ生產ニ付テハ、種牡
馬ヲ生產スルニ適當ト認ヌマス優良種牝馬
ヲ選ビ、之ニ種牡馬ヲ作ルニ適當ト認ヌル
デアリマス、何故斯様ナコトヲ申スカト云
ヘバ、第二馬政計畫デ、殊ニ馬政調査會ニ
モ申上げマシタ通り、戰列部隊所用馬生産
用ノ種牡馬ノ整備ハ、昭和十八年度マデト
ナツテ居リマス、輕種產地ニ對シテハ、特
種牡馬ヲ交配シテ、生產致シタイト考ヘテ
居ルノデアリマシテ、種馬統制法ニ依リマ
シテ優良ナル種馬ノ檢定ヲ行ヒマシテ戰列
部隊所用ノ軍馬生産ニ適當ナルモノヲ選定

馬ヲ中間種ノモノニ置キ換ヘル場合ノ設置
獎勵ニ付テハ、輕種產地ヲ優先的ニ認ヌル
方針ヲ執ルコト、輕種產地ノ軍馬購買ニ付
テハ軍部トノ申合ニ依リ、明ヶ二歳ノモノ
ハ昭和二十年度マデ、壯馬ハ同ジク二十五
年マデ、特ニ之ヲ認ヌル方針ヲ執ルコト、
ト云フヤウナコトニ致シマシテ、成タケ輕
種產地ノ混亂ヲ來サナイヤウニ處置致シテ
參リタイ、斯様ニ御承知ヲ願ヒマス、第三ニ
種牡馬ノ購入價格ニ付テ、御質問デアリマ
スガ、是ハ馬糧ノ騰貴等ノ關係モ考慮致シ
マシテ、昭和十三年度ニ於キマシテハ明ヶ二
歲馬ノ價格ハ、昭和十二年度ヨリモ平均凡
ソ百圓程度増額致シタノデアリマス、又日
本競馬會ノ行ヒマス「アラブ」抽籤馬ノ購買
ノ價格ニ付キマシテモ、昭和十三年ノ秋カ
ラ一回引上ラシ、尙ホ昭和十四年ノ初ニ於
テモ、再び其ノ引上ヲ致シテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ種牡馬ノ選定ニ付キマシテ
ハ、優良ナル種牡馬ノ生產ニ付テハ、種牡
馬ヲ生產スルニ適當ト認ヌマス優良種牝馬
ヲ選ビ、之ニ種牡馬ヲ作ルニ適當ト認ヌル
デアリマス、何故斯様ナコトヲ申スカト云
ヘバ、第二馬政計畫デ、殊ニ馬政調査會ニ
モ申上げマシタ通り、戰列部隊所用馬生産
用ノ種牡馬ノ整備ハ、昭和十八年度マデト
ナツテ居リマス、輕種產地ニ對シテハ、特
種牡馬ヲ交配シテ、生產致シタイト考ヘテ
居ルノデアリマシテ、種馬統制法ニ依リマ
シテ優良ナル種馬ノ檢定ヲ行ヒマシテ戰列
部隊所用ノ軍馬生産ニ適當ナルモノヲ選定

ガ如キ大改變編ヲ、多クノ同一ナ役人ニシテ
之ヲ行フト云フコトニナレバ、前途ニ轉タ
不安ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、此
ノ法案ノ實施ニ當リマシテ前途ヲ明確ニシ
タイ爲ニ、御尋スルノデアリマス、尙ホ農
村ハ國家全體ノ動員ニ依ツテ、必要ナル場
合ガ到來シタ既ニハ、何時デモ馬ヲ只デデ
モ御國ノ爲ニ差上ゲル用意ノアルコトヲ、
申上げテ置キタイ、ト同時ニ如何ナル美名
ノ下ニアラウトモ、唯馬ノ價格ノミヲ事變
ノ犠牲ニスルト云フ農村ノ行爲ガアツテハ
ナラヌノデアリマス、以上申述ベマシタ諸
點ニ關シテ、詳シク御説明ヲ御伺致シマシ
テ、更ニ細部ニ亘ツテ質疑ヲ試ミタイト思
ヒマス

○栗林說明員 軍馬ノ購買價格ニ付キマシ
テハ、軍ニ於キマシテモ馬ノ資格ヲ判定
致シ、尙ホソレニ馬ノ生產費トカ市價ト云
ブモノヲ適當ニ考慮ノ上、適正ナル値段ヲ
決ヌルノデアリマス、一貫シタ方針ト致シ
マシテハ、馬產ヲ何處マデモ保護助長シテ
行クト云フ精神ノ下ニヤツテ居リマス、併
シ最近ニ於キマシテハ事變ノ影響ヲ蒙ツテ、
ド軍馬ノ購買ト云フコトハ不可能ニナルノ
デハナイカトスラ危ブマレタノデアリマス
ガ、出來ルダケ此ノ値段ヲ適正ニスルト云

シマシテ、善處致シタイト思ツテ居リマス
次ニ馬ノ種類ノ問題デアリマスガ、先ヅ
最初ニ御答シナケレバナラナイコトハ、今
回ノ事變ニ因ツテ突如トシテ馬政ノ根本方
針ヲ變ヘタノデハナイカトカ、或ハ屢々馬政
ノ根本方針ヲ變ヘタノデハナイカト云フヤ
ウナ、御叱リデアリマスケレドモ、是ハ何
等カノ誤解デハナイカト考ヘマス、ソレヲ
只今一寸申上ゲマス、御承知ノ如ク第二次
馬政計畫ヲ立テマシタ際ニハ、其ノ根本方
針ハ第一次馬政計畫ノ精神ヲ、何處マデモ
踏襲ヲシテ參ツタノデアリマス、ト申シマ
スノハ軍ト致シマシテハ、第二次馬政計畫
ヲ立テマス際ニ、何等ゾヨニ的確ナル資料
ヲ得ナカツタノデアリマス、ソレハ滿洲事
變ニ於テ、輕乘輶馬ヲ以テスルノ僅カノ經
験デアリマシテ、ソコニ輕種ヲ排斥シナケ
レバナラヌトカ、軍馬ハ全部中間種デナケ
レバナラヌトカ云フ的確ナル資料ヲ把握ス
テ第二次馬政計畫ヲ立テマス際ニハ、當時
軍ガ保管フシテ居リマシタ馬ノ現在ノ種類
別ヲ標準ト致シマシテ、乗馬ニ於テモ大體
輕種四、中間種五位ノ割合デアリマシタノ
デ、ココ當分ノ間ハ其ノ割合デヤツテ行カ

ウデハナイカ、而モ十年ト云フ期間ヲ限り、先ヅ其ノ期間ダケハ此ノ割合ヲ以テ進ンデ行カウトシタノデアリマシテ、決シテ第一次馬政計畫カラ第二次馬政計畫ニ移リ變リマシタ際ニ、軍ノ方針ヲ一變シタノデハアリマセヌ、全然第一次馬政計畫ノ趣旨方針ヲ踏襲致シタノデアリマス、所デ今回ノ新馬政計畫ヲ立テマス際ニハ、全般的ニ何モ違ツテ居リマセス、唯只今小笠原委員ノ御質問ノアリマシタ通り、輕種ノ問題ニ付キマシテハ多少考ヘガ違ツタノデアリマス、ソレハ滿洲事變ニ於キマシテハ、輕乘輓馬ヲ以テシテノ僅カノ部隊ノ僅カノ實驗、殊ニ軍隊ノ活躍ノ致シマシタ所ハ、大體ニ於テ南滿洲ノ地區デアリマシテ、北滿洲ノ方面ニ行ツテ働くタト云フ部隊ハ、餘リナイノデアリマス、隨ヒマシテ僅カノ地區デ、而モ輕乘輓馬ダケデ、僅カ期間ノ實驗ニ過ぎナインデアリマス、然ルニ今回ノ事變ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク戰場ハ北支力ラ中支、南支ト非常ニ廣大ナ地區ニ亘リマレモノハ悉ク徵發致シマシテ、活動サセルト云フヤウナ未曾有ノ經驗ヲ致シタノデハ、日本ノ馬デ凡ソ戰時ノ役ニ立ツト思ハアリマス、而モソレガ各種ノ戰況、各種ノ

地形、各種ノ條件ノ下ニ實驗ヲ重ネタ次第
デアリマス、然ル所輕種系ノ馬、殊ニ輕種
ノ血量ノ多イ馬ハ、ドウモ戰地ニ於ケル組
筆ノ管理ニハ堪ヘナイ、隨ヒマシテ直グ過
勞、廢斃ニ陥リ、又悍性ガ餘リニ高過ギテ
所謂、虛悍、强悍デアリマシテ、在郷ノ兵、
殊ニ未教育ノ兵等ニ於テハ之ヲ扱ヒニクイ
ト云フ關係カラ致シマシテ、是ハ軍馬ニハ
ドウモ向カナイ、軍ノ輕乘輶馬ハ御承知ノ
如ク粒選リノ馬デアリマシテ、而モソレハ十
分ニ訓練ヲ施シテアリマスノデ、輕種ノ血量如
何ニ拘ラズ、大體ニ於テ役ニ立ツタノデアリ
マスケレドモ、徵發ノ馬ハ殆ド未訓練ノ儘
民間ニ放置サレテ居ルノデアリマシテ、是
ガ一旦徵發ヲサレニ戰地ニ出ル場合ニ、サウ
云フ條件ノ下ニ於テハ到底軍馬トシテノ能
率ハ發揮出來ナイト云フコトガ、各部隊一
致ノ意見デアリマシテ、ドウシテモ輕種血
量ノ多イモノハ軍馬トシテハ避ケナケレバ
ナラヌト云フコトニ、大體軍ノ意嚮ガ纏ツ
タノデアリマス、隨ヒマシテ輕種血量ノ多
イモノハ軍馬トシテハ適當デナイ、要スル
ニ中間種ヨリ血量ノ多イモノハ、軍馬トシ
テハ適當デナイカラト云フコトヲ、馬政當
局ノ方ニ申シマシテ、第二次馬政計畫カラ
新馬政計畫ニ移リ變ツタノデアリマス、尤

モ第二次馬政計畫前ニ於キマシテモ輕種ハ
是モ間違ヒデアリマス、是モ數字的ニ申シ
部ガ購買致シマシタ七千二百餘頭ノ馬ニ付キ
マシテモ、僅ニ四二%ガ輕種デアリマシテ、
他ハ中間種其ノ他デアリマスガ、是モ輕種ニ
現在ノ軍馬數ヲ調べマスルト——六千餘頭
ニ就テ調べタノデアリマスガ、是モ輕種ニ
屬スルモノハ三割六分デアリマシテ、他ハ
中間種其ノ他デアリマス、隨ヒマシテ乗馬
ト言ヘバ總テ輕種ト云フ御考ハ間違ヒデア
リマシテ、ヤハリ軍馬ノ主體ヲ成シテ居ル
モノハ中間種デアルノデアリマス、隨ヒマ
シテ今回第二次馬政計畫カラ新馬政計畫ニ
變リマシテモ、輕種ノミノ生産ヲ致シテ居リ
シタコトハ、勿論私共ノ方デモ認メテ居リ
マスケレドモ、大部分ノ所ニ於キマシテハ
リマスル所ニ於テ、多少ノ動搖變動致シマ
シテ居ル次第アリマス、而モ輕種ノミヲ持
寧ロ今回ノ計畫ヲ以テ適當ノモノデアルト
シテ、歡迎ヲシテ居ルノデハナイカト考ヘ
テ居ル次第アリマス、而モ輕種ノミヲ持
理ナ變改ヲ與ヘズニ、其ノ方面ニ於ケル種
牲馬ノ十分ナル備付、並ニ配合ノ統制ト云

フモノガ立派ニ行ハレテ行クノニ相呼應シテ、軍馬ノ購買ヲモヤツテ行クト云フノデアリマスカラ、決シテ御心配ハナイト考ヘテ居ル次第アリマス、尙ホ私ノ説明ガ不足ノ場合ニハ、何レ大臣モ三時頃ニハ見ニアル筈デアリマスノデ、其ノ時ニ御聽キ願ヒマス

○佐藤委員長代理 小笠原君ニ一寸御相談シマスガ、先日遠山君カラ文部省ノ實業學務局長ノ出席ヲ要求致シテ置カレマシタガ、其ノ代リトシテ谷原義一農業教育課長ガ見エラレマシタノデ、其ノ方ノ質問ハ極

○谷原説明員 只今遠山サンカラ獸醫師養成ニ關シテ、文部省ノ採ツテ居ル教育上ノコトニ付キマシテ、詳細ニ説明ヲセヨト云

フコトデゴザイマシタノデ、出來ルダケ詳細ニ御説明申上ゲタイト存ジマス、文部省ト

致シマシテ獸醫師養成ニ付テハ、大體現在ニ於キマシテハ大學、高等農林學校ニ於ケル獸醫科、詰リ獸醫師ノ專門學校、ソレカラ中等學校ニ於テモ獸醫師ヲ養成シテ居リ

度デハアリマセヌガ、農學校ニ於ケル所ノ獸醫學科ニ於テ獸醫師ヲ養成シテ居リマス、是等ハ御承知ノヤウニ大正十五年ノ獸醫師

法ノ改正ニ基キマシテ、獸醫タル資格ヲ消失スルコトニナリマスノデ、本年三月末日

限ヲ以テ此ノ中等學校獸醫學ノ科ハ閉鎖シナケレバナラナイコトニ相成ツテ居リマス、

其ノ他官公立ノ外ニ同ジク私立ノ高等獸醫學校ノアルコトハ既ニ御承知ノヤウデアリ

マスガ、是等ニ對シマシテモ、文部省ト致シマシテハ、其ノ設立者學校當局ト十分密接ナ連絡ヲ執リマシテ、私立學校ニ於ケル獸醫師ノ養成ニ付キマシテ力ヲ注イデ居ル譯デアリマス、以上ハ大體數字的ナ事柄ヲ申上ゲテ現狀ヲ明ニシタノデアリマスガ、

其ノ内容ト致シマシテハ、詳シク申上ゲル

マデモナク、獸醫師ノ養成ハ從前ハ割合ニ程度ノ低イモノデアツテモ宜イト云フヤウ

マスガ、質問ハ至ツテ簡単デゴザイマスガ、

時局ノ關係デ獸醫師ノ多數ヲ要スルコトガ尙ホ申上ゲルマデモナク色々ノ關係、特ニ

獸醫學科デ獸醫師ヲ養成致シテ居リマス、

於ケル所ノ獸醫學科、東京高等農林學校ノ門學校ト致シマシテハ盛岡高等農林學校ノ獸醫學科、宮崎高等農林學校ノ畜產學科ニ

國民トシテ頗ル心配ヲ致シテ居ル所デゴザイマスガ、ソコニ於キマシテ、馬政計後如何ナル狀態ニ陥ルカト云フコトハ、ソレカラ專

徒ノ收容等ノ關係ニ付キマシテ、文部省計畫ニ對シマスル獸醫師ノ養成並ニ其ノ生

アリマスカラ、決シテ御心配ハナイト考ヘテ居ル次第アリマス、尙ホ私ノ説明ガ不

足ノ場合ニハ、何レ大臣モ三時頃ニハ見ニアル筈デアリマスノデ、其ノ時ニ御聽キ願

ヒマス

何卒詳細ノ御説明アランコトヲ希望致シマス

（佐藤委員長代理退席、委員長著席）

判然致シテ居リマスルノデ、目下此ノ第七十四帝國議會ニ對シマシテ、豫算ヲ要求シテ居ルモノガゴザイマス、ソレハ新ニ鹿兒島高等農林學校ニ獸醫學科、鳥取高等農林學校ニ同ジク獸醫學科ヲ新設致スノデアリ

コトニ付キマシテ、詳細ニ説明ヲセヨト云コトニ付キマシテ、出處ルダケ詳細ニ御説明申上ゲマシタノデ、先程申上ゲマシタ通

ス

リニ、中等學校ニ於ケル獸醫師ノ無試驗檢定ニ依ル所ノ免許狀下附ノ資格ガナクナリマシタノデ、出處ルダケ立派ナ獸醫師ヲ養

ガ、地方ノ府縣立ノ獸醫學校、是ハ專門程

度デハアリマセヌガ、農學校ニ於ケル所ノ獸醫學科ニ於テ獸醫師ヲ養成シテ居リマス、

ソレカラ文部省直轄デハアリマセヌ

マス、ソレカラ文部省直轄デハアリマセヌ

マス、ソレカラ文部省直轄デハ

ヲ養成致シタイト云フ傾向ガ少シ見エテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテモ、文部省ト致シマシテハ出來ルダアリマス、少シ冗長ニナリマシタガ、以上ヲ以テ御答ト致シ、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヲ致シマス

○遠山委員 次ハ陸軍側ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマスガ、ヤハリ獸醫師問題デゴザイマス、陸軍ト致シマシテハ、獸醫師ノ養成ニ付テ如何ナル御方針デゴザイマセウカ、又獸醫師ノ配屬等ニ付キマシテモ御差支ノナイ限り御説明ヲ御願致シタイ、斯様ニ存ジマス

○栗林説明員 今回ノ事變ニ於キマシテ軍馬ニ非常ナ損耗ガ出來マシタ原因ノ一ツト致シマシテ獸醫師ノ技能ガ非常ニ十分デナカツタト云フコトガ第一ニ算ヘラレテ居ル次第デアリマス、就中地方カラ召集致サレマシタ所ノ獸醫ハ、軍隊ニ平素居リマス所ノ現役ノ獸醫ト違ヒマシテ、殆ド馬ニ接ヌルヤウナ機會モナク、或ハ牛ノ方面ノコトヲ専門ニシテ居ルトカ、甚シキニ至ツテハ籠詰ノコトヲヤツテ居ルトカ云フヤウナコトデ、殆ド名前ハ醫獸ト付クヤウナモノノ獸醫ノ技術ニ關シテハ頗ル疑ハシイ者ガ

アツタノデアリマス、是ガ今回ノ事變ニ當
リマシテ多數召集セラレテ軍隊ニ配屬セラ
レマシタ爲ニ、其ノ結果トシテ、戰爭當初
ニ於キマシテハ隨分各部隊ニ於テ非難ガア
リマシテ、出來ルダケ獸醫、殊ニ在郷獸醫
ノ軍事的ノ教育ヲ十分ニ致サナケレバ、到
底馬ノ衛生ノ進歩改善ハ出來ナイト云フヤ
ウナ意見が出マシタノデ、私ノ方デハソレ
ゾレ手續ヲ致シマシテ、軍隊ニ關係致シマ
シタ所ノ獸醫ニ對シテ速成ノ教育ヲ行フコ
トヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホソレニ
隨ヒマシテ一般獸醫ノ教育ニ關シマシテハ
重大ナル關心ヲ持ツテ居ルノデアリマシ
テ、多數獸醫ノ中デ戰爭ノ場合ニ從軍スル
役廻リニアル者ニ對シテハ、軍隊ニ於テ十
分自分ノ任務ガ勤マルヤウナ技術ヲ持ツテ居
テ欲シイト云フコトヲ、熱望シテ居ル次第デア
リマス

○伊藤政府委員 一般畜主ニ對シマスル衛
生思想ノ普及ニ付キマシテ、如何ナル御考ヲ
持ツテ居ルノデアリマスカ、御伺致シタイ
ト思ヒマス

畜產局 デヤツテ居ルノデアリマスガ、
馬政局ト致シテヤツテ居リマスノハ、骨軟
症ノ防止ノ方法ヲ畜主ニ教ヘマストカ、或
ハ傳染性貧血ノ病氣ニ罹リマシタ馬ニ對ス
ル處置、又ハ其ノ豫防方法ヲ畜主ニ教ヘマ
ストカ、或ハ又傳染性流產ニ罹リマシタ馬
ノ處置及ビ其ノ豫防等、サウ云フ方面ノ各
専門ノ技術員ヲ縣廳ナリ畜產組合ナリニ於
キマシテ、之ヲ講習講話ノ方法ニ依リ、又
ハ經費等ヲ支出致シマシテ指導シテ居ル次
第ニアリマス

○遠山委員 大體諒承致シマシタ、尙ホ私
ヨリ一言希望ヲ申上ゲテ置キタインデゴザ
イマスルガ、此ノ物ヲ言ハザル動物ヲ飼養
管理ヲ致シテ行クノデアリマスカラ、畜主
側ト致シマシテハ此ノ最モ大切ナ馬ヘ、國
家的ニ關聯ヲ持ツテ行カナケレバナラヌノ
デアリマス、ドウヅ今後ニ於カレマシテモ、
ドウナレバドウ云フ風ニナルト云フヤウナ
事柄ニ付キマシテ、ソレハノ機關ヲ設ケ、

細ヤカニ講習等ヲ御設ケニナリマシテ、ソレヲ御獎勵アランコトヲ希望致シマス、ソレカラ今一ツ農林省側ニ御伺致シマスガ、是マデ日本ノ國民ト致シマシテハ、魚菜類近頃ニ至リマシテハ肉食ガ盛ンデアリマス、タケレドモ、獨リ馬肉ト申シマセウカ、體裁ヨク云ヘバサクラ肉、又ハ蹴飛バシト申シマセウカ、其ノ獎勵ガ至ツテ進ンデ居ナシ形デアリマス、ドウモサクラ肉、所謂馬肉ヲ食べタト言ヘバ、人様ニ話ガ出來ナイ、コソ／＼ト食べテ來テハロヲ拭イテ居ルト云フヤウナ有様デアリマス、此ノ馬ノ獎勵ヲスルニ付キマシテハ、一步進ンデ此ノ方面ニ獎勵ヲシテ戴イタラドウカ、是ハ時節柄トシテ私共ハ非常ニ之ニ對スル考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、牛ノ罐詰ハアリマスケレドモ、馬ノ罐詰ト云フモノハ見タコトガナイ、衛生上馬肉ガ不適當デアルナラバ致方アリマセヌガ、左様デアリマセヌナラバ、此ノ際肉ノ獎勵ヲ併行シテ戴イタ方ガニシイコトデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、何カ農林省ニ於キマシテハ、ソレ等ニ對スル御考ハゴザイマスマイデセウカシテハ、他ノ各種ノ方策ヲ講ズルコトハ必

要ト思ツテ居リマスガ、現在ハ馬ノ資源モ段々減ツテ居リマス次第デアリマスシ、馬ヲ食用ニ供スルコトヲ獎勵スルコトハ致シテ居リマセヌシ、致サヌ方ガ適當カト思ヒマス

○大石委員 只今文部省ノ政府委員ノ御説明ガアリマシタガ、ソレニ對シテ又陸軍側ノ御説明ヲ伺ツテ見マスト、色々獸醫ノ供給、養成ノコトニ付キマシテ、民間ノ希望

ト大分違ツテ居ル點ガアルノデアリマス、先般來獸醫師養成供給ノコトニ付キマシテハ、澤山ノ委員カラ質問モアリマシタガ、下其ノ要點ノ中、最モ重大ナノガ一般馬產地級大衆指導ノ任ニ當

或ハ育成地方ニ於ケル直接指導ノ任ニ當ル——一寸語弊ガアルカモ知レマセヌガ、下級大衆指導ノ任ニ當ル獸醫師ノ缺乏ニ付テ何レモ憂ヲ持ツテ、其ノ點ノ質問ガ行ハレリマスル中等程度ノ農學校卒業生ハ、從來獸醫師ノ免許ヲ與ヘラレテ居ル者ガ、獸醫師法ノ改正ニ依ツテ其ノ資格ヲ失フコトニナリ、各地ニ於ケル農學校中等程度ノモノガ本年三月限ヲ以テ廢止セラレ、コトニナリマスガ、是ハ洵ニ獸醫師ノ技術、知識ノ向上ノ上ニ於テ結構ナコトデア

要ト思ツテ居リマスガ、現在ハ馬ノ資源モ段々減ツテ居リマス次第デアリマスシ、馬ヲ食用ニ供スルコトヲ獎勵スルコトハ致シテ居リマセヌシ、致サヌ方ガ適當カト思ヒマス

リマスケレドモ、之ト同時ニ馬產地竝ニ育成利用地方ニ於ケル直接指導ノ任ニ當ル、所謂下級大衆ノ指導ノ任ニ當ル獸醫師ガ、段々缺乏シテ來ル虞ガアル、ソレヲ農林省ノ管轄内ニ於テハ殆ド文部省ニ移シタヤウナ形ニナルノデアリマスカラ、地方ニ於テハ第一部ト云フモノヲ置キマシテ、更ニ地方的ノモノヲ養ハントシテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ規模モ小サク、其ノ人員モ少イ、仍テ文部省ニ於キマシテハ東京帝國大學ノ農學部獸醫科卒業、或ハ北海道其ノ外官立ノ専門學校、東京、盛岡、三重、鳥取、鹿兒島等ノ學校ニ於ケル教育ノ方針ハ、畜產科デス、之ヲ同ジ獸醫科デアリマシテモ、畜產科デアリマシテモ、馬ノ専門、或ハ牛、綿羊、犬猫ト云フヤウナ部門ヲ分ケマシテ、御教育ニナル御考ハアリマセヌカ、一般醫師ハ各々内リマスル中等程度ノ農學校卒業生ハ、從來獸醫師ノ免許ヲ與ヘラレテ居ル者ガ、獸醫法ノ改正ニ依ツテ其ノ資格ヲ失フコトニナリ、各地ニ於ケル農學校中等程度ノモノガ本年三月限ヲ以テ廢止セラレ、コトニナリマスガ、是ハ洵ニ獸醫師ノ技術、知識ノ向上ノ上ニ於テ結構ナコトデア

度ハ姑ク此ノ儘ト致シマシテモ、或ハ近キ将来ニ於テ馬等ノ專門的ナ教育ヲナサルヤウニシテ、畜產地方、所謂馬ノ生產地方等ニ、直接大衆指導ノ出來ルヤウナモノヲ設ケル御考ハアリマセヌカ

○谷原説明員 御答申上ゲマス、只今ノ御質問、御希望ハ極メテ專門的ナ事柄デアリマシテ、非常ニ私ト致シマシテ結構ナ御意見ト拜聽スルノデアリマス、現狀ト致シマシテハ、今御話下サイマシタヤウナコトヲ制度ト致シマシテ、法規上明確ニ採ツテハ居ラナイノデアリマスガ、實際ノ教授、運用ニ於キマシテハ、御希望ノヤウニナツテ居ル所モアルノデゴザイマス、例ヘテ申シマスルト、盛岡高等農林學校ニ於ケル獸醫學科ニ於キマシテハ、土地ノ性質上、馬ノ方面ヲ重大視致シマシテ、特ニ馬ノ獸醫ト云フコトニ付テハ非常ニ熱心ニヤツテ居ルノデアリマス、又今度新設致シマスル鹿兒島ノ高等農林學校獸醫學科ニ於キマシテモ施シマシテモ、ヤハリ馬ニ對スル教育ガ、專門學校ヲ卒業シテ參ツテモ、實際ニ技術造詣モ深クナリマス、折角全般的教育ヲ主トシテ馬ノ方ヲヤルヤウニナルダラウト考ヘテ居リマス、又鳥取高等農林學校ニ於キマスル獸醫學科ニ付キマシテハ、アノ地方ノ性質上牛ノ方面ヲ主トシテヤツテ行クヤ

○谷原説明員 ソレハ農林省ノ所管デゴザデスカ

イマスガ、大體地方ノ農學校ノ第二部デニ
簡年獸醫學ヲ修業シタ者ニ對シマシテ、獸
醫師タル資格ヲ得ル試験ヲ受ケルコトガ出
來ルコトニナツテ居リマス、隨テ其ノ程度
デ受験ヲ致サレマス、試験問題ハ其ノ程度
デ出サレマスカラ、高等農林學校ノ獸醫學
科ヲ卒業シタ者ヨリハ少シ下ニナリマス
○森田委員 サウスルトソレヲ卒業シタ者
ハ、特例ヲ聞イタ別個ノ得業士トカ何トカ
云フ名稱ヲ特ニ附スルノデアリマスカ
○谷原説明員 高等農林學校ノ獸醫學科ヲ
卒業致シマシタ者ハ、獸醫得業士ト稱スル
コトヲ得、斯ウ云フコトニナツテ居リマシ
テ、獸醫得業士ト言フコトガ出來マス、今
申上ゲテ居リマスル第二部ノ方ハ、獸醫得
業士ト稱スルコトハ出來ナイノデゴザイマ
ス

○森田委員 スルト其ノ受験ノ方法或ハ科
目、試験程度ト云フモノハ、全部モウ法規
デ決メラレテ居ルノデゴザイマスカ
○谷原説明員 大體科目等ハ法規デ決メラ
レテ居リマス

○森田委員 モウ一つ、是ハ資料デゴザイ
マスガ、之ヲ一ツ御願致シタイノデゴザイ
マス、今直グ御答辯ガ或ハムヅカシイカモ
知レナイト思ヒマスカラ、後デモ宜シウゴ

○森田委員 サウスルトソレヲ卒業シタ者
ハ、大學校若クハ農林學校、各校別昭和十
一年度、昭和十二年度獸醫科ノ生徒現在總
數、其ノ實驗ノ對象タル動物ノ種類、頭數、
其ノ種類別金額ノ總額、之ヲ一ツ御願致シ
マス

○谷原説明員 大體分ツテ居ル點モアリマ
スシ、少シ分リ兼ネル點モアリマスカラ、
調ベマシテ後デ差上ゲマス

○小笠原委員 先刻私ガ御尋申上ゲタ中ノ
最モ重要ナ關係ノ、今回ノ改變ニ依ツテ輕
種ト云フモノハ軍馬トシテ適當ナラズト、
斯ウ云フコトニナツタ結果ニ對シマシテ、
如何ニ政府ノ方デ之ニ同情アル御處置ヲ執
ラレテ居ルカト云フコトヲ、御尋シタノデ
アリマスガ、ソレニ對シテ、何カ補助關係
等ニ對シテハ優先權ヲ持タセルト云フ御話
ノヤウニ、私ハ承ツタノデアリマス、モウ
一つ此ノ問題ヲ明確ニ申上ゲテ見マスル
ト、先づ政府ノ方デハ多クノ兵器並ニ國防、
產業ノ目的達成ノ爲ニハ、政府ハ多額ノ補
助又ハ損失ヲ補償シテ居ルノデアリマス
ガ、今回ハ國防上ノ見地カラ輕種兵器ヲ中
間種兵器ト之ヲ改變シタノデアリマス、
隨テ此ノ改變ニ因ル損失補償ト云フモノ
ハ、當然取ルベキダト私ハ考ヘテ居ルノデ

○谷原説明員 只今御話ノ輕種ノ產地ニ
對スル對策ニ付キマシテハ、先程申シマシ
タヤウニ、大體ニ於テ資格ノ優良ナルモノ
ハ、軍ニ於テモ明ケ二歳ノモノハ昭和二十
年度マデ、壯馬ハ二十五年度マデ特ニ之ヲ
買上ガルコトニナツテ居リマス、行政手段
トシテハ、種牡馬ノ整理ト云フヤウナコトヲ
特ニ早メテ、輕種產地ニ對シテハ之ヲ行フ
ト云フコトニナツテ居リマスノデ、ソレ以
外ノ損害ヲ賠償スルト云フコトハ致サナイ
コトニナツテ居リマス

○小笠原委員 サウシマスト、政府ノ方デ
ハ之ヲ大改變ヲ行ツテ、兎ニ角ソレニ對シ
テハ種牡馬ノ配置トカ、昭和二十年マデハ
軍馬デ購買スルノダ、斯ウ云フコトデスガ、
ソレハ政府ノ方デ國防上ノ必要ガアツテ種
牡馬ノ如キハ材料ヲ提供スルト云フニ止ツ
テ居ル、決シテソレハ損失ノ補償デモナケ
レバ、補助デモナイヤウニ思ヘレルノデア
リマス、サウ云フコトニナリマスト、軍馬
ノ方デ——先刻モ栗林サンカラ昭和二十年
マデ購買シテ居ルカラ、ソレハ餘リ迷惑ヲ
掛ケナイ筈ダト云フ御話ガアツタガ、ソレ
ケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツテ、總

事情ニアルノデアリマス、ソレ等ノ方面ノ損害トカ何トカ云フコトハ、少シモ考慮ニ御入レニナラナイノカドウカ、而モ今度ノ馬政計畫ニ於テ生産地ノ中デモ輕種ノヤウニ、長イ間ニ於テ最モ發達シタ所ノ生産技術ヲ活カシテ、國策ニ順應セシメル方法ヲ採ルト云フコトガ、アナタ方ノ御方針デハナイノカ、ソレヲ一ツ明確ニ御答辯ヲ願ビタイノデアリマス

○伊藤政府委員 今ノ御尋ハ、先程長官カラ御答辯申上ゲタコトヲ繰返スニ過ギナイノデアリマスガ、輕種產地ニ對シマシテハ種牡馬ハ成ベク急速ニ補充シテヤリ、轉同ヲ成ベク早クスルヤウニ努メル積リデアリマス、從來デモ陸軍デ購買セラレナカツタ輕種ノ仔馬ハ、民間デ買ツテ居ルノデアリマシテ、今回モ陸軍ガ昭和二十年マデハ買フ譯デアリマスカラ、從來ヨリモ特ニ負擔ヲ増シタト云フヤウナコトニハナラヌト思フノデアリマシテ、大體特ニ御迷惑ヲ掛ケルヤウナコトハナイカト思ウテ居リマス

○小笠原委員 ドウモアナタ方ハ馬ニ付テハ素人デ駄目ダ、能ク聽イテ御覽ナサイ、軍馬ニ買フナラ分ツテ居リマス、二百頭其ノ儘買フナラバ分ツテ居リマスガ、今マデ

ガナカツタ爲ニ、軍馬トシテノ検査外レノモノモ、出走ノ馬ニスル爲ニ、博勞ガ買ツタカラ値段ガ違ハナカツタ、今度ハ軍馬ハ生産馬ノ一割シカ買ハナイ、アト残ツタモノハ二束三文デ投ゲナケレバナラヌ、是ガ損害デナクテ何ダ、アナタ方ハ實際ヲ見ナイデ、机上論バカリディカヌ、是等ガ損害デナクテドウスル、ソレデハ別ノ方面カラ伺フガ、是ハ長官カラ御答ヲ願ヒタイ、競馬ト生産地ノ何レニ重キヲ置イテ居ルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○荷見政府委員 御尋ノ趣旨ガハツキリ致シマセヌガ、競馬ハ競馬デ尊重スペキモノノデアリ、生産地ハ生産地デ尊重スペキモノノデアルト思ヒマス、兩方比較スルト云ツテモドウ云フ所ヲ比較スルノデセウカ

○小笠原委員 如何ニモ御説ハ御尤デアリマス、私ノ比較スル所ハ斯ウデアリマス、私ハ競馬ハ勿論必要デアリ、輕種モ勿論之ニ重點ヲ置カナケレバ、是カラ法案實施ニ當ツテドウシテモ完全ナル結果ヲ得ラレナイコトハ明確ダト思ヒマス、然ルニ今度ハ地方競馬ヲ廢シタ所ニ依ツテハ、鍛錬馬競走中央會ト云フモノヲ作ツテ、之ニ依ツテ整理ヲシテ救濟スル法文ガアル、所ガ輕種

ノ方ニハ唯御迷惑ヲ掛ケナイト言ハレルバ
カリデ、救濟ノ法文モナイデ知ラヌ振リヲ
シテ居ルノハ酷イデハナイカト云フノデス、
私ガ聽キタイノハココナノデス。

○荷見政府委員　此ノ輕種ト云フモノニ付
キマシテハ、今後モ競馬ノ方ノ關係デハ、
馬ノ改良ニ缺クベカラザルモノデアリマス
シ、其ノ競走ニ出タモノカラ種馬ヲ取ルノ
デアリマスシ、又其ノ生産ノ頭數等ニ付キ
マシテモ「サラブレット」系ノモノハ現在ノ
程度デアリマスガ、「アラブ」系ノモノハ速歩
競走ヲ漸次ニ中止スルト云フコトニナツテ
居リマスノデ、之ヲ增加致シマシテ、現在
ノ抽籤馬ノ購買頭數モ相當増加シテ行クモ
ノト考ヘテ居ルノデアリマシテ、公認競馬
ノ關係デアリマスレバ、輕種ト云フモノハ
酷イ打撃ハ受ケナイコトニナリマス

○小笠原委員　是ハ或ハ意見ノ相違デアル
ト仰シヤルカモ知レマセヌガ、意見ノ相違
ドコロデハナイ、輕種ハ打撃ヲ受ケナイト
云フヤウナコトヲ仰シヤツタツテ、大體今
マデ設備シテ居ル種牡馬、種牡馬、輕半血
種、是種ヲドウアナタハ處理スレバ宜イト
思ハレルカ、是ガ一番大打撃ガアルノデア
リマス、而モ長官ノ仰シヤル種牡馬級ノモ

ノヤ軍馬級ノモノハ、昭和二十年マデハ助
カルデセウ、併シナガラ先刻申上ゲタ通り
組合デアリマス、四千頭ニ種付ヲシテ居ル
ノデアリマスガ、仔ガ生レテ市場ニ出ス數ハ、
不妊、流産其ノ他、病氣等ガアルノデ、二千
頭出レバ宜イ方デアル、其ノ數字ハアテタ
方ノ方ガ私共ヨリ能ク御承知ノ筈デアル、
其ノ中デ軍馬ハ一番多ク買ツテ二百頭、出
來タ馬ノ一割シカ賣レナイ、其ノ二百頭ヲ
目標トシテ四千頭ノ馬ニ種付ヲシナケレバ
ナラヌノデアリマスガ、其ノ殘リノ千八百
頭ハ今度ハ輕種ガ不要ニナルノデアルガ、
是ハ農耕馬ニモ不向デアルシ、將來軍馬ト
シテ買フト云フナラ種牡馬ニシテ軍馬ヲ出
サウト云フ目的ニ向ケルカ、或ハ牡馬ナラバ
五歳マデ飼養管理ヲシテ出走馬トスルカ、
ソコニ色々ノ目的ガアルデアリマスガ、是
ガ軍デ要ラスト云フコトニナリマスト、ア
トノ振落サレタモノハ、非常ナ犠牲ニナツ
テシマフノデアリマス、隨テ部落的ニ組合
的ニ總テノモノガ損害ヲ蒙ルト云フコトハ
明デアル、競馬ノ方モ損害ヲ蒙ルデセウ
ケレドモ、從來競馬ハ相當ニ儲ケタ所モア
ル、然ルニ生産地ハ儲ケテ居ナイ、犠牲一
方デヤツテ來タノデアリマスカラ、此ノ方

ノ損失ヲ見テ居ラレナイト云フコトナラ、吾々ハ此ノ法案ニハ餘程缺陷ガアルト思フ
ノデアリマスガ、ソレヲ今言ツタ所デドウ
ニモナラヌノデ、私等ノ言フコトモ能ク御
研究ヲ願ツテ、無理ガナイト思ハレタナラ
バ更ニ一ツ輕種ノ產地ニ對シテ、打撃ヲ與
ヘナイヤウナ方策ヲ採ツテ戴キタイ、ソレ
カラ次ニ先刻種牡馬ト競馬馬ノコトニ對シ
テ二十年前ト少シモ變リガナイ、安クナツ
タデヤナイカト云フ私ノ御尋ニ對シテ、競
馬馬ノ方ハ百圓上ゲタ、種牡馬ノ方ハ百圓
上ゲタト斯ウ仰シヤルケレドモ、ソレハ金ノ
數字ヲ見ルカラアナタ方ハ上ツタト云フ、
ソレハアナタ方ハ机上論デ駄目ダ、實際ノ
馬ヲ御覽ナサイ、今マデ競馬馬ニ出タモノ
ハ二千五百圓、三千圓ノ馬ヲ買ツタノデア
ルノデアリマス、今マデハ良イ馬ヲ認メテ
リマスガ、昨今ハ其ノ反對ニナツテ來テ居
居ツタ、今度ハ地方競馬ト云フモノガ統一サ
レタカラ、變動ノアル馬ヲ買ツテ來ルト抽
籤デ困ルト云フノデ、良イ馬ニ金ガ出セナ
クナツタ、隨テ下ノ方ノ六百圓七百圓ト云フ
所ニ良い馬ガ揃ツタ、ソレハ詰リ叩イテ居
ルノデアリマス、馬ノ進歩シタコトハ見ナ
イデ、金ガ上ツタアナタ方ガ言ハレルノ
デハ、馬ヲ生産スル者ハ泣カナクテハナリ

共ノ言フノハ本當ノ馬ノ價値ヲ申上ゲテ居ル、種牡馬ノ方ハ或ハ五十圓百圓上ツタカモ知レヌケレドモ、今度ノ馬政計畫ヲ定ムルニ當ツテ、此ノ種牡馬ノ生産ニ眞剣ニ當ルヤウニ、經濟關係ヲ調査シテヤツテ戴カドンナコトヲヤツテ居ルカト云フナラバ、バ種牡馬一頭出スニ國デヤツテ居ル馬ハ、ナケレバナラスト私ハ申上ガタ、何故ナラバ、國ノ種牡馬ニシテ宜イト云フ馬ニハ毎日一匹ノ馬ニ一人牧夫ガ付イテ、アノ通り大キナ牧場デ金ハ掛け放題デヤツテ、初メテ國デ決ヌタ或ル規格ニ嵌ツタ馬ガ出ル、ソレ程國デヤツテモ面倒ナモノヲ民間デヤツテ、サウシテ民間デ出來タモノカラ抽籤デ買フヤウニナルト、馬車馬式ノモノガ規格ニ當ニ生産者ガ迷ヒヲ生ジテ、種牡馬ヲ高ク買ツタカラ俺モヤラウト云フコトニナツテ、非常ニ經濟的ニ打撃ヲ受ケル者ガアル、サウ云フ馬ニ限ツテ碌ナモノハナイ、隨テ種牡馬ハ配合カラ飼養管理マデ政府ガシツカリ監督シテ、經濟ガ引合フ方法ヲ執ツテヤツテ貰ハナケレバナラヌ、生産スル者モ粒圖ルト云フノデナケレバ到底是ハ旨ク行カ

ヒマスガ、之ニ對シテハ如何デアリマセウ、
私ニ同意ナサイマスカ、或ハ別ノ方法ガア
リマスカ、之ヲ一つ私ハ伺ツテ置キタイ
ルヤウナ方針ハ、趣旨トシテ結構ナコトダ
ト思ヒマス

○荷見政府委員 只今小笠原委員ノ言ハル
ルヤウナ方針ハ、趣旨トシテ結構ナコトダ
ト思ヒマス

○小笠原委員 私ハ此ノ軍用馬保護ノコト
ヲ伺ヒタインデアリマスガ、此ノ軍用馬ニ
對シテハ飼養費ヲ一箇年ニ三十七圓、ソレ
カラ旅費ヲ三十五錢與ベ居ル、斯ウ云フ
コトニナルノデアリマスガ、是ハ國民ノ方
ハ國策ニ協力シテヤルト云フ見地カラ、此
ノ費用デヤリマスケレドモ、普通デハヤレ
ナイノデアリマス、隨テ馬主ハ相當ニ犠牲
ヲ拂ツテ國策ニ協力シテ居ルト云フコトヲ
御認メニナリマスカ、ソレヲ一つ伺ツテ置
キタイ

○荷見政府委員 私共ノ考デハ今回軍馬ニ
徵發シテ居ルモノノ成績ガ非常ニ惡イカラ、
何カ方策ヲ講ジナケレバナラヌ、ソレニ對
シテハ平常飼養費ト云フモノノ幾分デモ補
助シタナラバ、今ヨリモ馬ノ素質ガ改善サ
レル所ガアルダラウト云フヤウナ考デ、補

○小笠原委員　是ハ一時的ニヤラレルコトト違ツテ、今度ハ永久的ナ問題ニナルノデアリマス、之ニ對シテ金額ガ不足デアルナラバ經濟的ニ相當ナ犠牲ヲ拂ツテ居ル者ガアルコトハ、御分リデアリマセウ、此ノ事ハ大藏省ト折衝スル際ニ一體能ク御説明ガ行届イテ居ルノデアリマセウカ、一體大藏省ハ豫算ニ此ノ種馬ノ飼養費ヲ現ハシテ、是ハ東北振興費ダト云フ風ニ現ハサレニ、是ハ東北振興費ダト云フ風ニ現ハサレタノデハ、東北ノ甚シク疲弊困憊シテ居ル者ハ裸ニサレテシマフ、ソレヘ結局馬政局ノ説明ガ足リナイカラ、サウ云フコトヲ大藏省ガヤルノデアル、大藏省ハアア云フ技術ヲ持ツテ居ルカラ、何デモ彼デモ豫算デ出シタモノハ振興費ト心得ル習慣ニナツテ居ルガ、私ハ之ニ對シテ非常ニ迷ヒヲ生ジテ居ル、是ハアナタニ質問スルノデハナイガ、斯ウ云フコトハシツカリト説明シテ戴カナルガ、私共トシテモ十分ナリトハ考ヘテ居リウニ私共トシテモ十分ナリトハ考ヘテ居リマセヌ

ル者ガアルノデアリマス、ソレカラ今度ハ
鍛錬馬競走ノコトニ付テ伺ヒマス、是ハド
ナタカノ御質問ニ對シテ資源課長サンノ方
カラ、今マデノ地方競馬ノヤウナヤリ方デオ
ヤリニナルト云フコトヲ、申サレタノデア
リマス、ソレハサウ云フコトデオヤリニナ
ルノデアリマセウ、然ルニ駆足競走ヲヤツ
テドンナ馬ガ速イカト云ヘバ、「サラブレッ
ト」ヲ直接配合シタ所ノ中半血ガ、一番速
イニ決ツテ居ル、サウスルトサウ云フ馬ノ
競走ニナルト、今マデト餘り大差ノナイ結
果ニナルノデアリマス、而モ鍛錬馬ト申シマ
シテモ乗馬關係ノ鍛錬馬モアリマセウ、輓
馬モアリマセウ、小格輓馬モアリマセウ、
是等ヲゴツチヤニシテ駆足ヲスルコトハ出
來ナイノデアリマス、ダカラ今マデ通リオ
小格輓馬ハ出シテ居ナイノデアリマスガ、サウデ
最モ速イヤウナ乘馬ノミヲ鍛錬馬競走ニ使
用スルコトニナルノデアリマスカ、サウデ
ナク輓馬モヤルシ、小格輓馬モヤル、乗馬
モヤル、隨テ種類ニ依ツテ區別ヲシテ競走
アリマスカ、其ノ内容ヲドウカ御漏ラシ願
ヒタイノデアリマス

ル者ガアルノデアリマス、ソレカラ今度ハ
鍛錬馬競走ノ實施ノ要領デゴザイマスガ、
ナタカノ御質問ニ對シテ資源課長サンノ方
カラ、今マデノ地方競馬ノヤウナヤリ方デオ
ヤリニナルト云フコトヲ、申サレタノデア
リマス、ソレハサウ云フコトデオヤリニナ
ルノデアリマセウ、然ルニ駆足競走ヲヤツ
テドンナ馬ガ速イカト云ヘバ、「サラブレッ
ト」ヲ直接配合シタ所ノ中半血ガ、一番速
イニ決ツテ居ル、サウスルトサウ云フ馬ノ
競走ニナルト、今マデト餘り大差ノナイ結
果ニナルノデアリマス、而モ鍛錬馬ト申シマ
シテモ乗馬關係ノ鍛錬馬モアリマセウ、輓
馬モアリマセウ、小格輓馬モアリマセウ、
是等ヲゴツチヤニシテ駆足ヲスルコトハ出
來ナイノデアリマス、ダカラ今マデ通リオ
小格輓馬ハ出シテ居ナイノデアリマスガ、サウデ
最モ速イヤウナ乘馬ノミヲ鍛錬馬競走ニ使
用スルコトニナルノデアリマスカ、サウデ
ナク輓馬モヤルシ、小格輓馬モヤル、乗馬
モヤル、隨テ種類ニ依ツテ區別ヲシテ競走
アリマスカ、其ノ内容ヲドウカ御漏ラシ願
ヒタイノデアリマス

○佐々木説明員 只今御尋ノゴザイマシタ
鍛錬馬競走ノ實施ノ要領デゴザイマスガ、
御説ノ通り唯普通ニ走ラセテ居リマシタノ
デハ、從來ノ通り輕種血量ノ比較的多イモ
ノガ優勝ヲ占メル、又輕種血量ノ多イモノ
ヲ生産スルコトニナリマスノデ、其ノヤリ
方ニ付キマシテハ篤ト考慮シナケレバナラ
ヌト思ヒマス、只今考ヘテ居リマス方法ハ
成ベク乗馬、輓馬小格輓馬等ノ色々ナ種類
ノモノガ、出走シ得ル機會ノアル方法デアリ
マシテ、而モ生産ニ對シテモ或ルモノダケ
ニ非常ナ刺戟ヲ與ヘナイ方法ト云フコトヲ
考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ從來ノ地方
競馬ト大體同ジ恰好デヤルト先日申上ゲマシ
タノハ、競走ヲスルヤリ方ニ於キマシテハ、
從來ノ通リデアリマスケレドモ、出走馬ノ組
合セトカ、或ハ競走以外ノ調教審査、馬體審
査ト云フヤウナモノヲ組合セマシテ、馬主ニ興
ヘマス賞金額ノ決定ニ付キマシテハ、單ニ
央競馬會ト云フモノガ成立タナクナルト考
デモ殆ド経費ガ償ハナクナツテ、延イテ中
央競馬會ト云フモノガ成立タナクナルト考
ヘル、ソレハ實際經營ニ當ラレル方々ガ、
篤ト御研究ナサツタ方ガ宜イト思ヒマス、
畜產局長ガ御見エニナツテ居リマスカラ、
家畜保險ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、今度
ノ新馬政計畫ニ依ツテ、低身、廣軀、四肢
強健、粗飼粗管ニ堪ヘル馬ヲ持ヘヨウト云
フ面倒ナ注文ニナツタノデアリマス、斯ウ
云フ馬ヲ持ヘルニハ放牧ヲ條件トシナケレ
バ、ドウシテモ出來ナイ、隨テ牧野ノ問題

勿論ノコトデアリマス
○小笠原委員 只今ノ御答辯デ能ク分リマ
シタ、併シ其ノ御話ノ中ニタツタ一ツ、今
度ノ賞金ヲ授與スルノニ、馬體ノ検査ナド
ヲ賞與ノ中ニ加味スルト云フヤウナ御話
ガ、今アツタノデアリマスガ、ソレデハ馬
券ヲ買フ者ハ無クナツテシマフ、馬券ノ方
ハソレニ關係ガナイト仰シヤルケレドモ、
兎ニ角競走ト云フ以上ハ勝ツタ者ニ賞金ヲ
ヤラナケレバ、唯見物ニ行ク者ハアリハシ
ナイ、ソコハ是カラ御研究トアレバ別段御
咎辯モ要リマセヌガ、兎ニ角ソレハ考ヘル
餘地モ何モナイモノダト思ヒマス、餘リ馬
ノ方ヲ大事ニシテ、地方馬、鍛錬馬競走ノ
方ニ對シテ餘リ制限ヲ加ヘルト、何處ノ縣
デモ殆ド経費ガ償ハナクナツテ、延イテ中
央競馬會ト云フモノガ成立タナクナルト考
ヘル、ソレハ實際經營ニ當ラレル方々ガ、
篤ト御研究ナサツタ方ガ宜イト思ヒマス、
畜產局長ガ御見エニナツテ居リマスカラ、
家畜保險ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、今度
ノ新馬政計畫ニ依ツテ、低身、廣軀、四肢
強健、粗飼粗管ニ堪ヘル馬ヲ持ヘヨウト云
フ面倒ナ注文ニナツタノデアリマス、斯ウ
云フ馬ヲ持ヘルニハ放牧ヲ條件トシナケレ
バ、ドウシテモ出來ナイ、隨テ牧野ノ問題

ガ喧シクナツテ居リマス、其ノ期間モ、ヤ
ハリ春早クカラ秋遲クマデ、或ハ冬モ放牧
シナクテハナラヌヤウニナルノデアリマス、
シタ、併シ其ノ御話ノ中ニタツタ一ツ、今
度ノ賞金ヲ授與スルノニ、馬體ノ検査ナド
ヲ賞與ノ中ニ加味スルト云フヤウナ御話
ガ、今アツタノデアリマスガ、ソレデハ馬
券ヲ買フ者ハ無クナツテシマフ、馬券ノ方
ハソレニ關係ガナイト仰シヤルケレドモ、
兎ニ角競走ト云フ以上ハ勝ツタ者ニ賞金ヲ
ヤラナケレバ、唯見物ニ行ク者ハアリハシ
ナイ、ソコハ是カラ御研究トアレバ別段御
咎辯モ要リマセヌガ、兎ニ角ソレハ考ヘル
餘地モ何モナイモノダト思ヒマス、餘リ馬
ノ方ヲ大事ニシテ、地方馬、鍛錬馬競走ノ
方ニ對シテ餘リ制限ヲ加ヘルト、何處ノ縣
デモ殆ド経費ガ償ハナクナツテ、延イテ中
央競馬會ト云フモノガ成立タナクナルト考
ヘル、ソレハ實際經營ニ當ラレル方々ガ、
篤ト御研究ナサツタ方ガ宜イト思ヒマス、
畜產局長ガ御見エニナツテ居リマスカラ、
家畜保險ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、今度
ノ新馬政計畫ニ依ツテ、低身、廣軀、四肢
強健、粗飼粗管ニ堪ヘル馬ヲ持ヘヨウト云
フ面倒ナ注文ニナツタノデアリマス、斯ウ
云フ馬ヲ持ヘルニハ放牧ヲ條件トシナケレ
バ、ドウシテモ出來ナイ、隨テ牧野ノ問題

是等ニ對シマシテハ私共モ何トカ特別ナ方

法ヲ講ズル必要ガアルト考ヘテ研究ヲ致シ
テ居リマス、固ヨリ保険全體トシテハ、府
縣全體、或ハ國全體デ互ニ補ヒ合ツテ成立
ツテ行クモノデアリマスノデ、出來得ル限
リ全國的ノ計算ノ下ニヤツテ行クコトガ必
要ダト思フノデアリマスガ、特殊ノ地方ニ
對シマシテハ特殊ノ事ヲ考ヘナケレバナラ
ヌダラウト思ツテ居ルノデアリマス、ソレ
ニ對シマシテ從來ノ助成施設ダケデハ無論
十分デナイト思ヒマスノデ、是等ノコトヲ
豫想シマシテ、此ノ助成ヲ増額スルヤウニ
努力シタノデアリマスガ、之ヲ實現スルニ
至ラナカヅタ譯デアリマス、併シ其ノ點ニ
付キマシテハ、何等カ出來得ル形ヲ見出シ
タナラバ、ソレニ依ツテ幾分ナリトモ補ヒノ付
クヤウニシテ、サウシテサウ云フ危險ノ多イ地
方ニ於ケル保険組合ガ、十分安定ヲ得ルヤウ
ニシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス
マスガ、何分此ノ新馬政計畫ノ方針ノ一
〇小笠原委員 只今ノ御答辯ニ依ルト、保
險ノ方ハマダ確立シテ居ナイヤウデアリ
シテ戴キタイノデアリマス、更ニ牧野ノ一
日モ早ク實行ノ出來ルヤウナ方法ニ努力
ノデアリマス、廣汎ナル牧野ヲ要スルコト

ハ、是ハ勿論デアリマスケレドモ、唯廣イ
カ、カリノ牧野デハ成績ハ舉ラナイノデアリ
マシテ、ヤハリ牧野ニ對シテ牧草ノ栽培ト
レカラ牛ト馬ト一緒ニ放牧スルト草ヲ全部
絶ヤシテシマフ、御承知ノ通リ牛ハ草ノ根
スルト云フヤウナコトニ指導シテ行ク、ソ
バナラヌノデアリマス、隨テ間斷的ニ放牧
マデ捲ツテシマフカラ、草ガ生エナクナツ
テ馬ハ非常ニ困ツテ居ル、ダカラ此ノ放牧
關係ヲシツカリ區別シテ、牧野ト云フモノ
ヲ定メナイト成績ガ擧ラヌ、斯ウ私ハ考ヘ
テ居リマス、只今畜産局長モ御見エニナツ
テ居リマスカラ、其ノ牛馬ノ放牧地ノ確立
ト云フコトニ對シテ、何カ御研究ガアルカ
ドウカ、其ノ點ヲ一つ伺ヒタイト思ヒマス
○荷見政府委員 御話ノヤウニ、牧野ノ整
備ニ付キマシテハ、私共モ小笠原委員ト同
ジヤウナ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマシ
テ、徒ニ面積ヲ擴大スルコトノミガ適當ナ
モノデナク、面積ガアリマシテモソレガ非
常ニ不良ナル牧野デアリマスレバ、何等ノ
效果モナインデアリマスカラ、必要ニ應ジ
テ面積ヲ擴大シナケレバナラヌコトハ當然
デアリマスケレドモ、ソレト同時ニ内容ノ
改善、整備ヲ圖ルコトモ極ヌテ必要デアル

ト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ方針トシテハ、其ノ兩方面ニ向ツテ出
來得ル限り牧野ノ整備ニ努メタイト考ヘテ
居リマス、尙ホ是ガ使用方法等ニ付キマシ
モ、或ハ只今御話ノ牛馬ノ放牧ヲ如何様
ニ取扱フベキカト云フヤウナコトニ付テ
モ、馬政局ト致シマシテモ一層研究ヲ致シ
タイト思ヒマス、幸ヒ牧野ノ改善ニ關スル
審議會モ設ケテ、畜產當局其ノ他各部局ノ
方面ノ方々ト協議ヲ進ヌツアルノデアリ
マスカラ、其ノ決案ヲ成ベク早ク得ルヤウ
ニ努メタイト考ヘテ居リマス
○東委員長 小笠原君、續イテ陸軍大臣ニ
御質問ナサイマスカ——陸軍大臣ニ對スル
御質問デ前カラ保留サレテ居ル方ガ何人ア
リマスカ
○永田委員 私モ保留シテアリマス
○小野委員 私ハ先日議事進行ノ形式デ陸
軍大臣ノ出席ヲ求メテ置キマシタ
○東委員長 大臣ハ大變御忙シイヤウデア
リマスカラ、質問ハ成ベク簡単明瞭ニ御願
致シマス——小笠原君
○小笠原委員 今回ノ種馬統制法案竝ニ軍
馬資源保護法案ニ付キマシテ、此ノ大改編
ノ眼目ハ輕種ハ軍馬トシテ適當ナラズ、是
ガ一番ノ問題デアリマス、ソコデ此ノ原因

ヲ他ノ委員カラモ此ノ前御臺致シマシタル所、又他ノ機會ニ於テモ農林當局其ノ他陸軍當局カラ承ツテ居ル所ニ依リマスルト、日支事變ノ實績ニ鑑ミテ實施サレタト云フコトヲ屢々聞クノデアリマス、併シ未ダニ此ノ改編ニ當リマシテ相當前途ニ疑フ有シテ居ルノデアリマス、言フマデモナク馬ノ改バ其ノ目的ヲ達成シ得ザルコトハ、第一馬政計畫ニ三十年ヲ有シテ居リマス、而シテ更ニ第二馬政計畫ニ入ツタノデアリマスガ、此ノ經過ニ於キマシテモ極メテ明瞭ニ政府ノ方カラ承ツテ居ルノデアリマス、隨テ國防上且ツ兵器トシテ軍ノ作戦上遠イ前途ヲ見越シ、如何ナル敵國ヲ相手ニシテモ間違ヒノナイ馬產計畫ヲ立て置カナケレバナラナイト私ハ思フノデアリマス、然ルニ今回ノ日支事變ハ國民齊シク豫期シタヤウナ事變デアリマシテ、軍ニ於テモ之ニ對スル缺陥ガアツテハナラヌ筈デアリマス、所ガ今回ノ事變ニ對スル實績ニ鑑ミテ、初メテ馬ノ大改編ヲ斷行スルト云フコトハ、前ニモ申上ゲマシタ通り馬ノ改良ハ長年月ヲ要スルコトデアリマシテ、斯様ナコトヲ百モ承知デアル政府トシテハ、餘リニモ前途ニ暗カツタト思ハレルノデアリマスガ、此ノ點

ハ國民モ迷ヒヲ生ズル所デアリマス、何ト
カ國民ニ納得ノ行クヤウナ御説明ヲ願ヒタ
シ、竝ニ指導ノ爲ニ、直接之ニ當ラレタ所ノ
軍馬補充ノアル所ヘ、軍馬補充部ノ役人ノ方
方、軍隊ノアツタ所ハ軍隊ノ御役人ノ方々、
其ノ他農林省ノ種馬所ノ役人ノ方々カラ縣
廳、產馬組合共ニ農民ニ直接當ツテ今マデ
輕種ト云フモノハ軍馬トシテ最モ乘馬ニ適
當ダトシテ指導ヲシテ參ツタノデアリマス、
是ガ現在何故大變動ヲ來シタカト云フコト
ガ明確デナイ爲ニ、此ノ第一線ニ立ツテ居
ル方々ガ答辯ニ苦シソニデ居ル、無理ニ訊ク
ト勝手放題ナ法螺ヲ吹イテ、農民ニ押付ケ
テ居ルヤウナ感ガアルノデアリマス、農民
ノ方デハ唯政府ノ方デ權力ヲ以て分ツテモ
分ラヌデモ後ヘ付イテ來イト云フヤウニ聽
エテ、眞カラ此ノ國策ニ協力スルト云フヤ
ウナ、サウ云フ分ルヤウナ説明ヲシタ者ハ
一人モナイ、ソレデ非常ニ迷ソテ居ルノデ
アリマスカラ、何トカ大臣カラ斯ウ云フ必
要ニ依ツテ斷行シタト云フコトノ、明確ナ
御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、モウ一ツ
續イテ申上ゲマスガ、一番輕種產地竝ニ其
ノ他ノ國民ニ疑念ヲ生ゼシメテ居ル所ハ、

全國ノ總馬數ノ中デ輕種ト云フモノハタツ
タニ割シカナイ、二割シカナイカラ軍ニ徵
發サレテモ購買サレテモ、其ノ第一線ニ働
惡イ筈ハナイノニ、今度ハ輕種ガイカヌト
ナツタノハ甚ダ不思議ニ思ツテ居ル、第一
線ニ於テ輕種デアルトカ、重半血種デアル
トカ紙一枚ノヤウナ血種ノモノヲ、仕譯ノ
付クヤウナ制度ニナツテ居ルノカドウカ、
是モ一ツノ疑念ヲ持ツテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ近頃ハ中間種デアツテモ纖細
菲薄ナル馬モ相當アルデセウ、又輕種デア
ツテモ低身廣軀資質剛健ナ馬モ相當アルノ
デアリマスガ、ソレトテモ第一線ノ方デ何
デモ彼デモ弱ツタ馬ハ、輕種ト決メテシマ
ツタノデハナイカト云フ、疑ヲ持ツテ居ルノ
デアリマス、ソレカラモウ一つハ應召サレ
タ兵隊サン方ハ馬ニ慣レナイ爲ニ、御承知
ノ通り大臣モ馬產地ノ方デアルカラ能ク御
分リデセウカ、馬ト云フモノハ本能トシテ
逃ゲヨウトルト、囁付ク眞似ヲスルモノ
デアリマス、手懷ケテ能ク懷クト初ヌテ側
ニ寄ルト云フヤウニナツテ來マスカラ、ソ
レデ馬ニ接觸シタコトガナク、怖々當ツテ囁
付カレル、又恐クナツタト云フコトデ取扱

ニ缺陷ガアツタノデハナイカ、輕種ハ瘤ガ
強イ爲ニヤハリ本能ヲ發揮シ易イ、隨テ輕
種ノ方ニハ多ク手當ガ行届カナカツタ爲ニ
輕種ハ斃レル、ソレデ輕種ハイカヌト云フコ
トニナツタノデハナイカト云フコトヲ疑ツテ
居ルノデアリマス、ソレカラ近ク「ソビエ
ト」アタリト戰爭スルコトニナツタトシテ
モ「ソビエト」方面ハ全部多クハ輕種ヲ持ツ
テ居ル、中デモ騎兵隊ト云フモノハ殆ド輕
種ヲ以テ組織シテ居ルト云フコトヲ聞イテ
居ルノデアリマス、若シサウ云フ場合ニナ
ツテモ日本ハアノ輕種ニ對シテ中間種ヲ以
テ對抗シテ、向フハ賢明デアツテ此方ハ愚
デアルト云フヤウナ點ハ、御調查ガ行届イ
テ居ルカドウカ、祕密ノ點デ御辯擧ガ出來
ナイカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ點
マデ吾々ハ疑ツテ居ルノデアリマス、而シ
テ輕種ハ勘モアリ、能ク命令ニ服從シ、中
間種ハ鈍重デアツテ中々操縱ガ出來ナイ、
隨テ人間ノ訓練ガ相當能ク出來テ居ルナラ
バ、多クハ輕種ノ方ヲ望ム、サウシテ鈍重
ナ中間種ハ望マヌ、斯ウ云フコトヲ能ク聞
イテ居リマスガ、軍ノ方デ特ニ輕種ノ方ハ
軍馬トシテ適當ナラズトシタコトハ、何處
ニ原因ガアルノグラウト云フ迷ヒヲ生ジテ
居ルノデアリマス、尙ホモウ一ツ、第一馬

政計畫ト云フモノト此ノ延長ノ第一馬政計畫ノ計畫樹立ノ場合ニハ、農林省ト陸軍省ハ能ク折衝シテ國策ヲ定メテ、之ニ依ツテ國民ニ馬政方針ノ向フ所ヲ示シ、成育、役種別ト云フモノノ規格ヲ定メ之ヲヤレト云フコトデ今日マデヤラセテ來タノデハナイデセウカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、而シテ又近キ將來ニハ折角此ノ新馬政計畫が充實サレ、稍、之ニ向ツテ生産スル頃合ニナツテ、更ニ變動ヲ來スノデハナイカト云フ虞ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトハ絶對ナイノデアルカドウカ、先刻軍ノ方々ノ他ノ委員ノ質問ニ對シテハドウモ第一馬政計畫、第二馬政計畫ト云フモノハ、マダ軍ノ方デシツカリ分ツタノデハナイトカ——
ソコハ明ニ分リマセヌガ、此ノ第二馬政計畫ト云フモノハ、軍ノ方トシツカリ協力ノ上デ出タモノカ、ドウカト云フコトガ一番問題デアリマスガ、ソコヲ一ツ明確ニ御答辯願ヒタイ

政計畫ト云フモノト此ノ延長ノ第一馬政計畫ノ計畫樹立ノ場合ニハ、農林省ト陸軍省ハ能ク折衝シテ國策ヲ定メテ、之ニ依ツテ國民ニ馬政方針ノ向フ所ヲ示シ、成育、役種別ト云フモノノ規格ヲ定メ之ヲヤレト云フコトデ今日マデヤラセテ來タノデハナイデセウカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、而シテ又近キ將來ニハ折角此ノ新馬政計畫ガ充實サレ、稍、之ニ向ツテ生産スル頃合ニナツテ、更ニ變動ヲ來スノデハナイカト云フ虞ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトハ絶對ナイノデアルカドウカ、先刻軍ノ方々ノ他ノ委員ノ質問ニ對シテハドウモ第一馬政計畫、第二馬政計畫ト云フモノハ、マダ軍ノ方デシツカリ分ツタノデハナイトカ——

ソコハ明ニ分リマセヌガ、此ノ第二馬政計畫ト云フモノハ、軍ノ方トシツカリ協力ノ上デ出タモノカ、ドウカト云フコトガ一番問題デアリマスガ、ソコヲ一つ明確ニ御

Digitized by srujanika@gmail.com

現地ニ於ケル體驗經験ト云フモノハ、満洲事變程度ノモノシカナカツタノデアリマシテ、満洲事變ニ於テハ民間カラ廣ク徵發馬ル保管馬其ノ儘ヲ使ツタ、詰リ今回ノ日支事變ノ經過狀態ト比較シマスナラバ、實ニ其ノ規模ニ於テモ、亦サウ云フ風ニ軍隊ノ保管馬ヲ使ツタ云フダケノ經驗ニ過ギナイ、斯ウ云フヤウナコトモアリマス、爾來研究ヲ重ネ、又今回ノ日支事變ハ御承知ノ通リニ其ノ規模ニ於テモ、實ニ日露戰爭以上ニ場所モ廣イト云フヤウナコトデアリマスシ、既ニ一年餘ヲ經マシテ、實際ヲ得タ所ノ體驗ト云フモノハ、實ニ貴重ナモノト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、又將來戰ニ相手國ヲ何處ニ考ヘルカ、戰場ヲ何處ニ考ヘルカ、斯ウ云フヤウナ御話ガアリマシタガ、之ヲハツキリ某國ト申ス譯ニモ參ラスト思ヒマスガ、吾々陸軍ノ活動スベキ地域ハ自ラ明瞭デアルト思ヒマスシ、將來ノ戰場ヘ恐ラクハ支那滿洲等ノ、現在日支事變カラ申シマンテ同様ナ所デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フヤウナ關係モアリマスルシ、今回ノ此ノ貴重ナル經驗ヲ本トシタル所ヲ、慎重ニ研究ヲシマシテ得

タル所ノ現在ノ馬政計畫ナルモノハ、近キ
將來ニ於テ直グ又之ヲ變更シナケレバナ
ラヌト云フコトハ、全然豫期シテ居ラヌ
ガ、是ハ血液ノ分量等色々問題ニナツテ
居ルト思ヒマス、私ハ専門ノコトハ能
ク知リマセヌガ、要スルニ此ノ輕種ト云
フモノハ、戰場ニ於ケル粗笨ノ間ニハ
堪ヘナイ、又榮養不良トナリ易イ、隨テ
過勞廢斃ニ陥ルト云フ缺陷モアリマスルシ
又强悍ノモノガ多イ爲ニ、兵ノ使役取扱ニモ
不便ガ勘クナイ、先程モ使役兵ノコトニ付
テ御質問ガアツタノデアリマスガ、理想カ
ラ申シマスナラバ馬ヲ取扱フ者ニハ全部民
間ニ於テ豫メ馬ニ對スル教育ヲ施スト云フ
コトガ理想デアリマセウ、併シ實際ガラ言
ヒマシテモ、ソレハ言フベクシテ行ハレナ
イコトデアリマス、隨テ特務兵等ニ於テ全ク馬
ノ取扱ニ慣レテ居ラナイ者ヲモ、召集セザル
ヲ得ナイト云フノガ今ノ實況デアリマス、是
ハ逐次馬事思想ヲ普及トカ、サウ云フモノニ
難デアルト思ヒマス、サウスレバ或ル一轍
ニ於テハ必ズサウ云フ者ガ入ツテ來ル、サ
ウスルト其ノ取扱上ニ於テヤハリ瘤ガ強過

ギテ中々取扱ヒニクリ、而モソレガ爲ニ取扱ヲ誤ルト直グ榮費ガ不良ニナリ、過勞廢斃ニ陥リ易イカラ、サウ云フヤウナモノヲ避ケルト云フコトハ、是ハ軍馬ノ取扱上當然ナコトト思フゾデアリマス、實際私共戰地ニ於テ部隊長トシテ、多數ノ軍馬ヲ取扱ヒマシテ苦イ經驗ヲ嘗メタノデアリマス、是ハ苟モ軍馬ヲ取扱フ所ノ各部隊長トシテハ異口同音ニ申ス所デアリマス、隨テ此ノ大規模ナル、又將來ノ戰場ト同ジヤウナ地形ノ所ニ於ケル、現在ノヤウナ馬ヲ以テスル所ノ經驗ト云フモノハ、是ハ實ニ貴重ナモノデアリマス、此ノ經驗ヲ基礎トシマシタ所ノ此ノ計畫——將來ハドウシテモ此ノ計畫ノヤウナコトデ進マナケレバナラヌ、斯ウ確信シテ居ル次第デアリマス

タイ、モウ一ツハ只今如何ニモ輕種ハ癪ガ
強過ギル、過悍デアツテ、普通ニ召集シタ
特務兵ノ取扱ニ對シテハ、不適當ダト云フ
シテハドウデアリマスカ、之ヲ私ハ伺ヒタ
イノデアリマス、殊ニ從來軍馬ノ方デハ一
體ニ輕種ニ仕向ケテ購買サレテ居ツタ、今
回ハ馬ガ不足ヲ來シタカラ、特務兵ノ使フ
方マデ輕種ノ購買漏レノ馬ヲ徵發ニ依ツテ
當ラシタ、即チ丁度良イ小格輓馬ガ無カツ
タ、不足ノ結果ガ其處ニ到ツタヤウニ思フ
ノデアリマスガ、常ニ訓練ヲ要シタ騎兵ノ
方ハドウデアルカト云フコトヲ一ツ伺ヒタ
イノデアリマス

ウガ、輓馬デアラウガ同様デアリマス、乘馬隊、詰リ騎兵隊等ニ於テモ、其ノ點カラ申シマシテ今回ノ狙ヒドコロニ於テハ、ヤハリ同様デアリマス

○小笠原委員 大體ニ於テ御答辯ニ依ツテ能ク分リマシタ、唯只今ノ第一馬政計畫、第二馬政計畫ニ於テモ、農林省ノ方ト緊密ナ連絡ノ下ニ樹立シタ馬政國策デアルト云フコトノ御答辯ガアリマシタ、私ハ何故ニサウ云フコトヲ伺フカト申シマスレバ、全國ノ馬事團體ノ會合ノ席上デ、兵務局長サンハ御講演ナサレテ、輕種ト云フモノハ從來一應ハ認メタケレドモト言ハレタノデアリマス、サウスレバ一應認メタモノダ、本當ハ認メナイ、僕等ハ唯胡麻化シニヤラサレタト云フヤウナ氣持ガシテ、非常ニ遺憾ニ感ジタノデアリマス、只今ノ大臣ノ答辯ノヤウニ、元ノ通り緊密ナ連絡ヲ取ツタ、ソレハ政策ニ依ツテヤラレタノダ、斯ウ云フ御話ナレバ結構ダ、ソンナラ吾々ハ迷ヒヲ生ジナカツタ、所ガ全國カラ集マツタ馬事團體ノ代表者ガ、大分迷ヒラ生ジテ居ルノデアリマス、斯ウ云フノハ今度ノ輕種ノ大改變ニ當ツテ、大分大キイ關係デアリマスカツテ御答辯ヲ願ツタ譯デアリマス、是デ能

ク分リマシタ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ是
○東委員長 小野君
○小野委員 只今ノ陸軍大臣ノ御答辯デ第
二次馬政計畫ノ變更ノ理由ハ、是レマデ御
説明ニナツクソレヨリモ若干詳細ニ瓦リマ
シテ能ク分ツタノデアリマス、併シナガラ
私ノ質問ノ趣旨ハ小笠原君ト稍、同一デアリ
マスガ、見方ノ角度ガ若干違ヒマスノデ、
重ネテ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、只今
陸軍大臣カラ事變關係デ今度ノ體驗ニ鑑ミ
マシテ、第一次馬政計畫變更ノ必要ヲ認メ
タ、斯様ニ御答ニナツタノデアリマスガ、
私共ガ見マス所ニ依リマスト、今次ノ經驗
カラ申シマシテモ、出動馬ノ不成績ト云フ
モノハ先刻來政府當局ノ御答辯ニ依リマシ
テモ、徵發馬ニ多カツタヤウナ思フノデア
リマス、殊ニ其ノ期間ハ僅々一年カラ一年
半ノ極ク短イ所ノ經驗ニ依ツテ、斯様ナル
馬政計畫ノ國策ノ一大變革ヲ見ナケレバナ
ラヌト云フヤウナコトハ、少シク早計ニ失
シハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、
殊ニ輕種ハ二割カ三割ヨリナイト云フ御答
モアリ、又更ニ北支、中支ニ於キマシテハ、
比較的徵發馬ノ成績、出動馬ノ成績ハ惡カ
ツタノデアリマスガ、南支作戰ニ於キマシ

テハ、南支作戦ニ於ケル所ノ馬ノ能力ハ「アラブ」ノ血量ノ多カツタ鹿兒島、宮崎方面ノ馬ガ、非常ニ能ク勵イタト云フ報告ヲ伺ツテ居ルノデアリマス、サウシテ見マスト北支、中支ニ於テ不成績デアツタガ、南支作戦ニ於テハ成績ガ好カツタ、斯ウ云フコトヲ照シ合セテ見マスト、今少シク戰局全體ヲ見マシテ、今度ノ事變ニ於ケル馬ノ成績ノ調査ヲ完了シテ、又生産地ノ實情ト將來ノ見透シヲハツキリト付ケマシテ、徐ロニ第二次計畫ノ變更ヲシテモ遲クハナイデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、中支北支ノ作戦ニ於テ失敗ヲシタガ、南支作戦ニ於テハ成功シタノデアルカラ、將來ノ馬政計畫ニ於テハ南支作戦ノ方ヲ考慮ニ入レナカツタ改革ノヤウニモ見ラレルノデアリマスガ、此ノ點ヲ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、先づ第一ニ御伺ラシテ見タイト思フノデアリマス第二ハ從來ノ馬政計畫ハ、主トシテ騎兵科出身ノ將校ガ立案計畫ノ衝ニ當ラレマシタ爲ニ、輕種系ヲ主トシタノデアリマスガ、今回ノ新計畫ノ樹立ニ當リマシテハアル、隨テ此ノ計畫ノ決定シマスマデハ部内ニモ相當ナ意見ノ對立ガ行ヘレマシテ、

此ノ計畫ハ近キ將來ニ再び變へナケレバナ
ラヌト云フヤウナ懸念ガ、今デモ一部ニ行
ハレテ居ルヤウナ噂ヲ聞クノデアリマス、
ト思ヒマス、第三點ハ、今度ノ新計畫ニ依
リマンテ輕種生産ノ縮小ハ、之ヲ急激ニ強
行スル御考デアリマセウカ、或ハ又徐々ニ
移行セシメヨウト云フ御考デゴザイマセウ
カ、又輕種產地ハ從來ノ儘ニ之ヲ存續セシ
スマシテ、中間種ノ產地ヲ新ニ樺太トカ朝
鮮トカ關東州トカ、其ノ他滿洲北支等ニ之
ヲ求ムル所ノ馬政計畫ヲ妥當ナリト考ヘル
ノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御考ハ
如何デアリマセウカ、何故斯ウ云フコトヲ
申スカト申シマスレバ、從來輕種系ガ非常
ニ多イヤウニ考ヘテ居ツタノガ、是ハ間違
デアリマシテ、寧ロ輕種ガ多カツタガ爲デ
ハナクシテ、中間種ガ少カツタ爲ダト考
ヘルノデアリマスカラ、輕種產地ヲ其ノ
增産ニ一層力ヲ盡スコトガ妥當デハナイ
カ、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、第四
點ハ、先刻小笠原君カラモ御尋ガアリマシ
タ假想敵國ノ問題デアリマスガ、是ハ或ハ
マスノデ、唯抽象的ニ伺ツテ置クノデアリ

マスガ、將來日本ハ大陸ニ於テ戰争シマス
ル場合ニ、此ノ新計畫ニ依リマシテ馬政計畫ガ進行シマスルト、如何ナル敵國ト戰ヒ
マシテモ馬ノ素質、馬ノ機能ガ假想敵國ノ持ツテ居ル所ノソレト比較シマシテ、少シモ遜色ノナイト云フヤウナ御調查ガ出來テ居ルノデアリマセウカ、若シ公開ノ席デ御答出來マセヌデシタナラバ、祕密會デモ假想敵國ノ馬ノ内容ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ御伺ヒシタイコトハ澤山アリマスガ、他ノ諸君ノ御尋ノ點モアルト思ヒマスカラ、私ハ是ダケニシテ置キマス○板垣國務大臣 第一ノ御質問ハ南支那方面ニ於テ輕種ノ成績ハ好カツタ云フコトデアル、隨テ北中ダケガ惡クテ、南ハ好イ、サウ云フ關係モアルノニ一率ニ惡イト言フコトハドウカ、斯ウ云フ御話モアリマシタガ、是ハ全般的ニ輕種ハ適當ナ衣、斯ウ云フ結論ニナツテ居ルノデアリマス、或ハ一部ニハサウ云フ意見ヲ持ツテ居ル者モアルカモ知レマセヌガ、全般トシテノ問題デアリマス、是ハ餘談デアリマスルケレドモ、此ノ軍馬ヲ如何ニスベキカト云フコトハ、歐洲戰爭當時ニ於テモ既ニ色々々經驗ラシタコトデアリマシテ、其ノ當時カラ輕種ガ軍馬トシテ適當ナイト云フコトハ、段々唱

道サレマシテ、満洲事變後ノ計畫ニ於テモ、サウ云フ點モアツタ次第デアリマスガ、何爲ニ、其ノ當時ハ問題ニナラナカツタノデアリマス、今俄ニ此ノ問題ガ起ツタノデハナイノデアリマス、ソレカラ次ノ問題ハ前回ノ馬政計畫ヲ計畫スル際ニ於テハ、騎兵科出身ノ者ガ主トシテヤツタ、今回ハ砲兵、斯ウ云フ關係カラ輕種ヲ嫌ヒ中間種ニ傾クト、斯ウ風ニナルノデハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、今回ノ主任モ騎兵デゴザイマス、ソレカラ外地ニ對スル計畫、内地ノ馬産計畫ヲ確立シマシタ以上、是ト連繫ヲシテ、ソレニ相應スルヤウナ計畫ヲ、外地ト地ニ於テモ立テナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、隨テ當局者ト致シマシテハ外地ト連繫ヲ致シマシテ、實情ヲ調査シテ、將來戰ニ即應スルヤウナ計畫ヲ期待シテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ計畫ヲ急行スル積リカ、漸進的ニスル積リカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ漸進的ニ徐々ニ實行致シマシテ、生産者ニハ御迷惑ヲ掛けナイデアリマスガ、本計畫ハ將來ノコトヲ十分見透シヲツケテアル關係ハ、先程申上ゲタ通リデアリマス、隨テ何レノ國、何レノ敵ニ

○永田委員 私ハ此ノ際農林大臣ト陸軍大臣ニ御尋シテ置キタイト思ヒマス、此ノ間御親切ナル御答辯ヲ戴キマシテ満足デアリマシタガ、尙ホ一二ノ不可解ナ點ニ付テ御伺フシタイト思フノデアリマス、其ノ第一ノ御尋ハ、此ノ間農林大臣ハ此ノ案ハ國防ト産業、是ガ兩全ノ政策トシテ此ノ法案ヲ提出シタノデアルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ之ニ付テ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、吾々ハ是ハヤハリ兩全、五分々各トスルヨリモ、重點ハ國防上ニ置クノガ至當デハナイカト云フ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ヤハリ斯ウ云フモノハドチラカ主體ヲ決メテ置カケレバ、共同ノ仕事ト云フコトハ、中々田舎ニ於テハ旨ク行カナイ、政府ガ仕事ヲヤラレルニハ何處カ主管ガアツテ、他ノ者ガソレニ從ツテヤルト云フ建前ノ方ガ、吾々民間デ仕事ヲスル際ニモ旨ク行クヤウデアリマス、此ノ見解カラ私ハク言フノデアリマシテ、現ニ目ノアタリサウ云フ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

一ツノ例ガ出テ居ル、私ハ嘘ハ申上ゲマセヌ
ガ、我國ノ國防上ノ見地ニ於テ、燃料ガ不足デ
アル點カラ、無水「アルコール」ヲ採ラケレ
バナラヌト云フノデ、無水「アルコール」ノ
工場ガ諸方ニ出來タノデアリマス、是ハ大
藏省ガ之ヲ主管シテヤツテ吳レル、其ノ主
タル原因ハ國防上ニアツタ譯デアリマス、
所ガ是ガ大藏省ガ工場ヲ置イテ、サウシテ
農林省ト手ヲ握ツテ、農林省ハ甘諸ト馬鈴
薯ノ獎勵ヲナサツテ居ル、所ガ最近兩者ニ
於テ——他ノ地方ハドウカ知リマセヌガ、
私ノ方ニ於テハ價格ノ點ニ於テ生産者側ニ
同情シテ戴ク所ノ農林省ト、大藏省ノ專賣
局ノ工場方面トノ間ニ、シツクリイカヌ點
ガアル、此ノ馬產計畫ニ付テモ、ヤハリ農
林大臣ト陸軍大臣ト手ヲ握ツテヤツテ戴ク、
所謂總親和ノ下ニヤツテ戴クコトハ結構デ
アリマスガ、ヤハリ私ハ國防ガ主デアレバ、
陸軍ノ方ガモツト元氣良ク出テ戴キタイト
思フ、農林省ノ仕事モ多イデセウケレドモ、
寧ロ陸軍ノ方デモツト積極的ニ出テ戴キタ
イト思フ、之ヲ具體的ニ申上ゲマスナラバ、
此ノ案ヲ出シナサル前ニ、陸軍ハ從來ノ軍
馬補充部、之ニ向ツテナゼモツト前ニ其ノ
擴張或ハ內容ノ改善、サウ云フ方面ノ御研
究ヲナサラナカツタノデアリマスカ、私共

ノ要求、御願トシテハ、今度ノ馬政計畫ノ
外ニ、陸軍自體ガモツト產馬計畫ニ重點ヲ
置イテ戴キタイト思フ、私共ノ質問ニ對シ
テ政府委員ノ御説明ニ依リマスト、軍馬
補充部ハ八ツアツタ、其ノ中鳥取ト鹿兒
島——鹿兒島ヘ薩摩半島ニアツタガノヲ廢止
シタ、鳥取ノ方ハ北ノ方ニ移シテ朝鮮ガ其ノ
代リニ出來タ、所ガモウ一ツ殘ツテ居ルノ
ハ種馬所デアル、是ハ實際ニ即シタ意見ダ
カラ申上ゲマスガ、宮崎縣ニハ高鍋ニ軍馬
補充部ガアリ、小林町ニ種馬所ガアリマス、
南九州デ一番馬ヲ出シテ居ル所ハ鹿兒島デ
アリマス、今度ハ鹿兒島高等農林ニ獸醫科
ヲ作ツテ戴イタガ、是ハ牛ノ方デ馬ノ方ハナイ、
斯ウ云フ教育方面ニ重點ヲ置イテ戴イタコ
トハ洵ニ感謝致シマス、而シテ此ノ馬政計
畫ハ教育ト產業ト、國防ト此ノ三ツデアル
ノデアリマシテ、農林省トシテ何トカ御計
畫ヲ爲シテ戴クノデセウガ、ヤハリ重點ハ
陸軍ノ方デ、モツト御奮發ヲ願ヒタイト斯
來ノ軍馬補充部ハ足踏ヲシテ、境外ニ出ナイ
將來モツト内容ヲ整備セラレル必要ハナイ
カ、吾々ガ直接視察シタ所カラ見マシテモ、從
廢止セラレテ居ルモノヲ復活セラルトカ、從

ヤウニシ居ル、成程秣ガ上ルトカ、人夫質ガ上ルトカ云フヤウナコトデ、軍馬補充部ハ御困リグラウト思フ、併シ此ノ難關ヲ突破サレナケレバ、立派ナ馬ノ向上へ出來ヌ譯デアリマス、私共ノ方トシテモ軍馬補充部ニ重點ヲ置イテ戴キタイト云フ點ヲ、陸軍大臣ニ向ツテ御願ヲシタイト思ツテ、質問シタ譯デアリマス、所ガ之ニ付キマシテ——コンナコトヲ申上げマスト御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、從來國防上ノ計畫ニ於テモ、或ハ自動車學校ヲ作ルトカ、鐵道學校ヲ作ルトカ、戰車隊トカ、或ハ山砲、騎砲兵、重砲トカ色々々ナモノガ澤山アリマス、斯ウ云フ見地カラ考ヘテ見マシテ、若シ軍馬補充部ノ内容ヲ御改善ガ出來ナイナラバ、新シク軍馬學校トカ云フヤウナモノヲ新設シテ貰フ、ソレニハ騎兵ニ關スルモノトカ、或ハ輜重トカ、野砲ノ輓馬トカ、サウ云ヤウナ兵隊ト馬ト直グ親シマセル方法ヲ作ル——聯隊トデモ言ツテ宜イカモ知レマセヌガ、軍馬學校デヤルト、軍馬兵トシテ徵集シテシマヘベ宜イ、ソコデ直接馬ニ訓練フヤツタ方ガ、サア戰爭ト云フ場合ニハ、徵發ノ馬ヲ直グ使フヨリモ大變調子ガ好クハナカラウ

カト云フコトヲ考ヘテ居リマス、是ハ吾々
田舎ノ分ラヌ者ガ大變失禮デゴザイマスガ、
斯ウ云フ點カラ何カ軍馬補充部ノ數ヲモツ
ト増シテ戴クカ、或ハソレガ不適當ナラバ
其ノ補充部ノ跡ヘ、飛行隊デモ何デモ持ツ
テ行ツテ戴クトカ、サウ云フ風ニシテ新シ
ク軍馬學校ヲ造ツテ戴クヤウナ御計畫ハ如
何ナモノデアリマセウカ、無論斯ウ云フコ
トハ國防上ニ關係ガアツテ、御答辯シニク
イコトガアルカト存ジマスガ、サウ云フ場
合ニハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、後デ
委員長ノ方デ御取計ラヒ下サツテ五分間デ
モ祕密會ニデモシテ御答辯シテ戴ケレバ結
構ト思ヒマス

イ——實際ニ大隅半島デ大風水害ガアツ
十人カラ死ンダ、損害モ二千八百万圓カラ
三千万圓近クノ損害ヲ被ツタノデアリマ
ス、其ノ際ニ馬ヤ牛ガ死ンダノモ、縣カラ
來タ統計ヲ見マスレバ二千三十三頭トカ云
フ數ガ出テ居ルノデアリマス、現ニ高イ馬
ヲ一戸デ四頭モ殺シタヤウナ人ガアル、即
チ戰地ニ行ツタ人ハ自分ノ子供ヲ失ヒ、大
事ナ馬ヤ牛ヲ失ツタ者モアルノデアリマス、
斯ウ云フ地方ニ對シテハ農林省ハ大變心配
ヲシテ戴イテ居ルノデアリマシテ、大變感
謝ヲ致スノデアリマス、又アノ復舊ニ對シ
テハ陸軍カラ軍隊マデモ派遣シテ戴イテ、
吾々地方民トシテハ有難カツタ譯デアリマ
スガ、今度愈、斯ウ云フ國有地ノ開放ヲナサ
ル場合ハ、アノ大隅地方ニハ三万町歩ノ廣
イ原野ヤ山林地ガアルノデアリマスカラ、
斯ウ云フ方面ニ何トカ軍馬ノ補充部トカ種
馬所、何カソソナ施設デモ陸軍省ト農林省
トデヤツテ戴イテ、アノ憐レナ罹災民ヲ救
濟シテ戴クヤウナコトヲ、此ノ機會ニ御願
ヒシテ置キタイト思フノデアリマス、他ソ
人ニモ大變迷惑ヲ掛ケルト思ヒマスカラ、
此ノ機會ニ餘計ナコトハ申上ゲマセヌ、是
ダケ御願ヒシテ置キマス、何カ之ニ對シテ

御答辯ヲ賜レバ結構デアリマス

○板垣國務大臣 只今ノ御質問ノ中デ、軍馬育成所ニ關スル問題デアリマスガ、軍馬シテ居ルノデアリマスガ、ヤハリ此ノ規

模、即チドレダケノ幼駒ヲ收容セネバナラ
ヌカト云フヤウナコトハ、將來ノ軍備充實

計畫ニ關係ヲ持ツコトデアリマスカラ、ソ
レ等ハ考慮シテ研究シテ行クベキモノト考

ヘテ居リマス、軍馬ノ學校、是モ御意見ト

シテハ結構ニ思ヒマスガ、色々事情モア
リマスノデ、只今直チニ設ケルト云フコト

ハ考ヘテ居リマセヌ、其ノ他ノコトハ參

考トシテ伺ツテ置キマス
○大石委員 先般本案上程ノ際ニ、陸軍大
臣ニ兵器トシテノ軍馬資源保護、鍛錬ヲ行
フノデアルガ、此ノ鍛錬ハ陸軍直接オヤリ
ニナツテハ如何カト云フ御尋ヲ致シマシタ
際ニ、ソレハ國ノ事デアルカラ、何處デヤ
ツテモ構ハヌ、ソシテは農林省ニヤラセ
ルコトガ適當デアル、併シ陸軍ハ此ノ經費
ヲ軍事費ト同様ニ見テ居ルト云フ御話デア
リマシタガ、鍛錬法ノ實行ニ當リマシテ、
一番問題トナルノハ所謂曳付料及ビ助成
額、是方此ノ案ニ於テ一番直接關係ノアル
問題デアリマス、其ノ金額ヲ承リマシタル

所、回數ハ一箇月二回以上、一年二十四
回、一回ノ曳付手當ハタツタ三十五錢、鍛
錬馬ノ指定ヲ受ケマシタル馬ニ對シテハ一
年三十七圓ノ補助ヲスル、斯ウ云フ建前ニ
ナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ
餘リニ少額ニ失スルデハナイカ、斯様ナ考
デ以テ色々説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、
併シ從來ハサウ云フ手當モナカツタ所へ左
様ナ手當トカ補助ヲ出スノデアルカラ、寧
ロ喜ンデ居ルト云フ馬政當局ノ御答辯ガア
リマシタ、併シ馬ヲ兵器トシテ、其ノ保有
ヲ民間依存トン、又鍛錬ヲ其ノ民間ノ馬ニ
施サウトセラレマスルナラバ、ヤハリ軍ハ
軍ノ兵器ト看做シテ、モウ少シ此ノ助成金
及曳付手當等ヲ増加セラレタラ如何デアラ
ウカト思フノデアリマスガ、豫算ノ都合上
中々サウハ行カナイ、併シマダ満足ハシテ
知レヌト云フコトデアリマシタ、私ハ此ノ
意味カラ致シマシテ、嘗テ陸軍ノ兵器トシ
テノ馬ニ對スル閑却振リヲ吾々ハ痛感
ヲ軍事費ト同様ニ見テ居ルト云フ御話デア
リマシタガ、鍛錬法ノ實行ニ當リマシテ、
前林陸軍大臣ニ對シテ、一般ノ軍事費、
其ノ臨時費が非常ニ膨脹シタニ拘ラズ、
馬ニ對スル豫算ト云フモノハ少シモ
増額サレテ居ラヌ、是ハ馬ノ兵器トシテノ

機能及ビ重要性ヲ閑却シテ居ルデハナイカ、
機械力ニ依存シテ、馬ノ重要性ヲ減殺シテ
居ルノデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ以チマシ
テ、嘗テ御尋ヲシタコトガアリマシタガ、
他ノ兵器ノ「レベル」ガ餘リ低イカラ、ソレ
等ノ「レベル」ヲ上ガル間曾ク辛抱ヲシテ貰
ヒタイ、斯ウ云フ御意見デアリマシタ、併
シ馬ハ他ノ機械器材ト違ヒマシテ、材料ヲ
興ヘレバ直グ必要ニ應ジテ製作シテ行ケル
ト云フヤウナ工合ニハ参ラヌ、軍馬ヲ供給
シマスルニハ、馬ハ今年種付ケラシテ來年
生レルノデアリマスガ、ソレガ五歳ニ達シ
ナケレバ軍用ニ供サレナイ、先ヅ六年ヲ費
サナケレバ軍馬ニナラヌノデアリマスカラ、
今カラ之ニ重要性ガアルナラバ、モウ少シ
ナラヌガ、僅カ其ノ四分ノ一ニモ當ラヌヤ
力ヲ入レテ戴カナケレバナラヌ、斯ウ云フ
コトヲ申上げマシタガ、遺憾ナガラ支那事
變勃發マデニハ其ノ機運ガ釀成セラレナカ
ツタ、此ノ事變ガ突發致シマシテ、尊キ經
験ニ基イテ茲ニ新馬政計畫ガ定メラレタ、
シテ軍馬ノ重要性、隨テ軍馬資源ノ保
護涵養ヲセラレネバナラナイト云フ見地ニ
立ツテ提案ヲ見タノデアリマス、然ルニ此
ノ法律ニ伴フ所ノ今ノ豫算ノ運用振リヲ見
マスト、一箇年三十七圓、一回ノ手當ガ三
十五錢デアリマス、如何ニ農村ノ子弟デア

リマシテモ、一日若クハ半日費シテ、馬ト
人ト共ニ鍛錬ニ出テ參リマス、其ノ手當
ガ、三十五錢トハ餘リニモ慘メデハナカラ
ガ、三十五回ニ於テ御要求ニナリ、議會ニ提案セラ
シテノ馬ニ對スル豫算ニ於テハ尙ホ不足ヲ
認メルノデアリマス、其ノ點ヲ一つ伺ツテ
置キタイ
ソレカラモウ一ツハ新馬政計畫ニ付キマ

頗ヒマス、私ノ御尋シマスノハ此ノ馬政計
目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカト云フ
コトニ非常ニ疑義ヲ持ツテ居ルト云フ觀點
カラ御尋ヲ致スノデアリマス、其ノ第一ト
致シマシテハ農林、陸軍兩當局トモ、農村
ト馬トガ經濟的ニ結付キヲ致シタ場合ニ吾
吾ノ認識ト違フ點ガアルト云フコトカラ、
私ハ遺憾ナガラ政府ニ於テモウ少シ御考
直シヲ願ハナケレバ所期ノ目的ヲ達スルコ
トガ困難ダラウト云フ推論ニ到達スルノデアリ
アリマス、其ノ意味カラ御尋スルノデアリ
マス、先づ第一ニ陸軍ニ於テハ國防資源
トシテ馬ノ絕對的ニ必要デアルコトハ申
上ゲルマデモアリマセヌ、所ガ農林大臣
ニ御尋スルノデアリマスガ、今日我國ノ
農村ノ事情カラ考ヘマシテ、若シモ馬ガ
農村ニ居ナカツタナラバ、日本ノ農業經營
ハ不可能カドウカ、非常ニソレニ依ツテ不
利益ヲ蒙ルカドウカ、具體的ニ申シマスル
ナラバ我國ノ農村ハ馬ニ代ルニ牛其ノ他ノ家
畜ニ依ツテ之ヲ補フコトガ出來ルト御考ニ
ナルカドウカ、吾々ノ認識ハ寧ロ他ノ動物
リマセヌカラ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、

生産地ニ於テ馬ガ或ル程度農家經濟ニ云々ト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマスガ、馬ノ利用ノ立場カラ申シマシテ、我國ノ農村ト馬ト云フモノノ結付キニ付テノ御信念利用ニ付テ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、
○櫻内國務大臣 御承知ノ如ク農業地ニ於テ馬ガ必要デアルコトハモウ申ス迄モアリマセヌ、唯河野君ノ御質疑ニナツテ居ル點アルカ、斯ウ云フ風ナ御質疑デアルト思ヒマスガ、牛ノ方ガ能率ヲ擧ゲル點モ多分ニアリマス、又馬ノ方ガ能率ヲ擧ゲル點モ相當アルヤウニ考ヘマス、隨ヒマシテ是ハ農林當局トシマシテハ雙方トモ其ノ増殖ヲ圖ルト云フ方針ヲ立テナケレバ相成ラスト、
斯様ニ心得テ居リマス

○河野委員 遺憾ナガラ私ト非常ニ懸隔ノアルコトヲ甚ダ殘念ニ思フノデアリマスガ、而モ御答辯ガ少シ違フ點ガアリマスノデ、モウ一度申上ゲマス、農家ニ於テ馬ヲ飼フコトガ採算上引合フカト尋ネタ、今日ハ明ニモウ何レノ農家ニ參リマシテモ馬ハナケレバナラヌ、ナケレバナラヌガ、ソレノ仕事ハ牛デ間ニ合フモノガ一體ドレダケアルカ、馬デナケレバ絶對ニ出來ヌ、牛デハ間

ニ合ハヌト云フ農家ノ經營上ノ分野ガ一體
何處ニアルカ、極ク一部分アルデセウ、而
モソレトテモ絶対ニ不可能デハアリマセヌ、
又他ノ點カラ申シテ馬デヤル場合ト、牛デ
ヤル場合トドツチガ農家經營上有利デアル
カ、私ハ遺憾ナガラ馬ニ依ツテ農家ヲ經營
スルコトニ依ツテ採算ヲ致シタ場合ニ、特
ニ農村ニ經濟上有利ナ點ヲ發見スルノニ苦
シムノデアリマス、言葉ハ過ギルカモ知レ
マセヌガ、極ク精農デ馬ト人間ト、人馬一
體ニナツテ居リマス農民ヲ一村ニ數名求メ
ルナラバ、是ハ求ヌラレスコトハ私ハナイ
ト思ヒマス、併シ大部分ノ場合ハ馬ニ依ツ
テ經營シテ居ル農家デ非常ニソレガ有利ニ
旨ク行ツテ居ル場合ヲ發見スルニ苦シムノ
デアリマス、大部分ハ馬ニ非常ナ趣味ヲ持
チ、馬其ノモノニ對シテ愛好心ヲ持ツトカ
云フ農家ガ馬ニ依ツテ經營シテ居ル、其ノ
他ハ他ノ觀念カラ、國防上ノ觀念カラ、又
ハ馬ト牛トノ間ニ於テ、馬デモ結構行ケル、
又ハ補助獎勵ガアルト云フコトデヤル場合
ガ多イノデアツチ、馬ニ依ツテ農家經營
スルコトガ相當經濟上旨ク行クト云フヤウナ
算盤ト云フモノハ、恐ラク出テ來ナカラウ
ト思フ、恐ラクハ農林大臣ノ只今ノ御答辯
モ、先日農林當局ガ私ニ御答辯ニナリマシ

鹿シイ算盤ヲ基準ニシテ御考ニナレバ、サ
ウ云フ觀念ガ出テ來ルカモ知レマセヌ、併
シ今日農村ノ何レノ部面ヲ搜シマシテモ、
非常ニ東北方面ノ草ノ多イ所、牧野ノアル
所ト云フ所デアリマシタナラバ、吾々ハ其
ノ方面ノ智識ガアリマセヌカラ申上ゲルコ
トハ出來マセヌケレドモ、吾々ノ知ル範圍
ニ於キマシテ馬ノ利用地方面ニ於キマシテ
ハ、馬一頭ノ食費ヲ一箇月十圓ヤ八圓デ足
ルト云フヤウナ所ハ斷ジテナイ筈デアリマ
ス、又ソシナ貧弱ナ食物デ瘦セタ馬ヲ飼ツ
テ置クノデアツテハ、國防上ニモ何等ノ益
スル所モナケレバ、農家經營ノ上ニ於キマ
シテモ、ソシナ貧弱ナ馬ヲ飼ツテ農家ノ經
濟ガ立ツ筈ハナイ、是等ハ全ク農林當局ノ
調査ノ杜漏ト認識ノ不足カラ來テ居ルモノ
デアルト思フ、吾々ノ茲ニ申上ガタイノハ、
同時ニ御認識ヲ願ヒタイノハ、今日我國ノ
大部分ノ農村ニ於テハ、馬以外ノ有利適
切ナル代家畜ニ依ツテ農家ノ有畜農業ノ
經營ヲスル方ガ農村經濟ノ方カラ言ツテ
有利適切デアルト云フ、是ハ萬人異論ノ
ナイ定見デアルト思フ、併シナガラ此ノ
意見ニ付テ若シ色々参考ニナリ、吾々ト

達ツタ御認識ノ上ニ立ツテ御指導願ヘル
點ガアレバ承レバ結構デアリマスガ、遺
憾ナガラ吾々ガ何時承ツテモ吾々ノ承服ス
ルヤウナ點ヲ見出スニ苦シムノデス、例ヘ
テ申シマスレバ、此處ニオ居ニナラヌ方
ノ名前ヲ出スノハ失禮デアリマスガ、陸軍
省ノ中山中將サンノ如キハ、私ノ同席シタ
或ル場所デ申サレタ、牛ハ日本ノ國民性ニ
合ハヌ、アア云フノロ／＼シタモノヲ飼ツ
テモ仕方ガナイ、馬ノヤウナモツト國民性
ニ合ツタモノヲ農家ハ飼ツテ云々ト云フヤ
レルノニ斯ウ云フ見地、斯ウ云フ認識デ指
導サレルコトハ私ハ不適當ダト思フ、モウ
ウナ講演ヲサレテ居ル、今日農村ヲ指導サ
ト私ハ思フ、ソコデ陸軍大臣、農林大臣、
兩當局ニ特ニ御考ヲ願ハナケレバナリマセ
協力スル所以ヲ說イテ戴カナケレバナラヌ
見デ農村ヲ御指導ニナリ、馬ノ必要ナル所
以ヲ說キ、我ガ農民トシテ此ノ馬政計畫ニ
見デ農村ヲ御指導ニナリ、馬ノ必要ナル所
モアリマスケレドモ、馬ヲ飼フヨリモ其ノ
他ノ代家畜デ經營スル方ガ得ダ、有利ダ、
農家ノ經濟振興上、農村振興上、其ノ方ガ宜
イノダ、是ハ私ハ定論デアルト思フ、併シ

ナガラ一方ニ國防資源トシテ絶對ニ馬ガ必
要ナンダ、是モ亦動カスベカラザル既定ノ
事實デアル、サレバ茲ニ三十圓何ガシノ補
助金ヲ以テ此ノ馬ノ増産計畫、第三次馬政
計畫、百五十萬頭計畫ト云フモノノ實現ヲ
期シテオ居ニナルコトト私ハ思フノデア
リマス、所ガ此ノ三十七圓ノ金額ノ善シ惡
シハ只今大石君カラモ申サレタヤウニ、私
モ一昨日此處デ申上ゲタノデアリマスケレ
ドモ、是ハ元々三十七圓ト云フ數字ハ、百
圓デ一年馬ガ飼ヘルカラ三十七圓ト云フヤ
ウナコトニナルト思フ、是ハ一體幾ラデ本
當ニ飼ヘルノカ、陸軍八月ニ二十七圓掛ル、
一箇年間デ約三百万圓カ幾ラ掛ル、民間ハ
百圓デ馬ヲ食ハシテ置クノダト云フ算盤ノ
違ヒカラ、三十七圓ト云フヤウナ數字ガ出
テ來ルト思フ、而モ其ノ三十七圓モ今陸軍
大臣ニ此處デハツキリ申上ゲタイノハ、補
助金ト云フ觀念ガ宜クナイト思フ、民間ニ
補助スルノデヤナイ、國民ガ負擔シテ居ル
其ノ負擔ノ一部分ヲ政府ガ辨償スルノダト
云フ觀念ニ變ヘテ戴キタイ、是ハ農林大臣
ニ特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、今ノ農林大臣ノ御
話ノヤウナコトデハ補助ヲスルト云フコト
ニナツテ來ルガ、サウデヤナイ、サウ云フ
觀念デハ中々馬ト云フモノハ旨ク行カヌト

思フ、サウデナシニ、馬ヲ飼フコトニ依ツテ生ズル所ノ農家ノ經濟ノ計算ヲビシツト御出シニナルガ宜イ、他ノ代家畜ニナレバドウ云フ算盤ニナツテ來ル、馬ニナレバドウ云フ算盤ニナツテ來ル、是ハ計算シ得ウ云フ算盤ニナツテ來ル、是ハ計算シ得ル、例ヘベ米ノ生產費ヲ計算スルヤウナ詳細ナル計算ヲシテ出シテ、ソレヲシツカリ壯ニ入レテ農民ニ示スト同時ニ、政府當局ガ確固タル認識ヲ決ヌテ、サウシテ政府ガ幾ラノ負擔ヲスレバ宜シイト云フコトヲ決スルガ當リ前ト思フ、サウスルノデナケレバ、ハツキリシタ我國ノ馬政計畫ハ立ツモノデハナイ、唯百姓ヨ馬ヲ飼ヘ、國家ノ爲ニ必要ダカラ飼ヘト云フダケデハ中々行キニクイト云フコトニ依ツテ起ツタノガ今回ノ色々ノ政策、此ノ政策ノ根本ニ誤リガアリ、認識ニ誤リガアルト致シマスナラバ、ト同時ニ、時間ガアリマセヌカラ、續ケテ申上ゲマスガ、第二ニ申上ゲナケレバナリマ、セヌ點ハ、例ヘバ地方競馬等ニ對スル認識デアリマス、馬ハ農家ノ必要ノ爲ニ飼フノデハナイ、國防ノ必要上ノ見地カラ農家ニ飼ツテ貰フノデアルト云フコトヲ第一觀念ニ置イテ戴キタイ、又農民モ喜ンデ國家ノ御用ヲ務メタイト云フ觀念デ、喜ンデ協

力スル、決シテ農民ハ算盤ヅクデ合ハナイカラ、飼フノ飼ハヌト申スノデハナイ、クデ飼フトカ飼ハヌトカ申サナイガ、飼ハセル政府並ニ指導者ノ方面ニ於テハ、又逆ニ農民ニ賴ンデヤラセルノデアルト云フ觀念ニナツテ戴キタイト思フ、茲ニ兩々相俟ツテ一體トナツテ本當ノ馬政計畫ハ生レルト思フ、所ガ此ノ認識ト全ク無關係デアル所ノ司法當局デアルトカ内務當局、司法省ノ刑事局長トカ内務省ノ警保局長トカガ、ヤレ競馬ニ行ツタ爲ニ犯罪人ガ出來タ、ヤレ競馬ヲヤル爲ニ思想上ドウナツタトカ云フ細カナ面倒臭イコトヲ言ツテ、此ノ馬政計畫ニ對シテ干與スルコトハ私ハ斷ジテ排撃シナケレバナラスト認メル者デアリマス、勿論國法ノ侵スペカラザルコト、又國民精神ノ發揚ノ上ニ於テ支障ノアルコトノ遺憾ナコトハ、吾々トシテモノノデアリマス、併シナガラ物ニハ凡ソ輕重ガアリマス、ドノ程度ママデハ認ヌテ宜シイ、ドノ程度以上ハヤツテハイカヌト云フ限界ガアル筈デアル、其ノ限界ヲ持タナケレバナラヌ、唯司法當局ノ見解デアルトカ、内務省ノ警保局長ノ見解デアルト云フヤウナコトカラ、馬ニ對スル何等ノ認識

モナケレバ、何等ノ研究モナケレバ、對策モナケレバ、準備モナイ所ノ一屬僚ガ、是等ノ問題ニ干與シテ、ヤレ地方競馬ノ取締ガドウダ、犯罪人ガ何人出タカラドウダト云フヤウナ、細カナ點カラ論ジテ國防資源確保ノ問題ガ決定出來ル筈ハ私ハ斷ジテナイト思フ、私ハ先日モ此處ニ御見エノ政府委員ノ方ニ申上ゲタ、今日馬ノ問題ハ中々重大ナ問題デアル、ケレドモ馬ハ陸軍ガ必要デアルノデアルカラ、モソト陸軍ガドン押スダラウト云フノデ、實ハ民間團體ノ有體等モ、此處ニ東委員長初メ民間團體ノ有力ナ方ガ御列席デアラウ、陸軍ガ要ルノダ

カラト云フ考ガ全然ナイトハ申セヌト思フ、モソトシツカリヤツテ貰ヘルカト思ツテ居ル、所ガ左ニアラズシテ、陸軍カラ馬政ノ上ニ於テアノ點、此ノ點ト色々註文サレマス其ノ點ガ地方民間デ考ヘテ居ル點ト食違フ場合ガ多イ、國防一本槍ト云フ所カラ出テ來ル場合ガ多イト思フ、勿論國防ノ爲ノ馬デアリマスカラ、國防一本槍デ出テ申シマシテモ百五十萬頭計畫ヲ確立シテ、之ヲ維持擴充シナケレバナラヌ點カラ申シ

マスレバ、民間ノ意見モ大イニ参考トシテ聽クベキ點ハ聽ク、其處ニ陸軍ト、農村ト、農林省トガ一體ニナツテ、之ニ障礙ヲ與ヘル他ノ行政部門ニ對シテハ完全ナル認識ヲ與ヘルト云フコトニ努力シナケレバナラヌト思フ、其ノ點ニ對シテハ私ハ缺ケテ居ル點ガアルト思フ、先づ第一ニ陸軍大臣ガ申サレタヤウニ、三十七圓ハ甚ダ遺憾デアルガ、財政上ノコトモ考ヘナケレバナラヌト仰シヤイマスケレドモ、遺憾ト申スノニモ限度ガアリマス、此ノ位ナラバ我慢シテ宜シ、此ノ位ナラバ我慢ガ出来ナイト云フヤウニ限度ガアル筈デアル、所ガ今申上げルヤウニ三十七圓デ、一日ノ曳付料ガ三十五錢ト云フヤウナ數字ハ何處カラ算盤ヲ彈いてモ出テ來ル數字ヂヤアリマセヌ、陸軍ノドノ豫算ニ比べマシテモ是程私ハ抑ヘ付ケラレタ豫算ハナカラウト思フ、此ノ點ヲハツキリト御認識願ハナケレバナラヌト思フ、其ノ他ノ行政各般ノ方面カラ壓迫ヲ受ケル馬政ノ點ニ於テモ十分ナル推進力ヲ以テ、例ヘバ地方競馬ノ取締ガドウデアラウガ、斯ウデアラウガ、ソレヲ一警察部長ガ來ルコトハ結構デアリマスケレドモ、何ト云フヤウナコトハ、嚴ニ監視スル必要ガアラ

ウト思フ、唯法律ハ法律トシテ作ツテモ、僅カノ金モアルトコトモ同ジコトデス、三十圓ヤ四十圓ノ金デ、三十錢、四十錢ノ曳付料ヲヤツテ見タ所ガ、陸軍方ガ來テコンナ瘦セコケタ馬ヲ何故曳付ケルカト言ツテ見ジテ黙過スルコトハ出來ナイ、實例ガ全國ニ多々アル、如何ニ當局ト吾々ガ「ペーパープラン」ヲ立テ見タ所ガ、地方ノ馬政ノ第一線ニ立ツテ働く者ト、行政官トノ間ニ磨擦ガアリ、徒ラナル干渉壓迫ガアツタラ斷ジテ馬政計畫ノ實現ハ出來ヌト思フノデアリマス、是等ニ付テ今後十分ナル御監督ト申シマスルカ、御研究ト申シマスルカ、御用意ラシテ戴クニアラザレバ、今私ガ申上げマシタノモ多少獨善的ナ考ヘ方モアルト思ヒマスガ、併シ一面ノ眞理ト云フ點ガアルト云フコトヲ御諒解戴キマシテ、又農民ノ要求モ此ノ點ニアルト云フコトヲ十分御諒解戴キマシテ、此ノ馬政計畫ノ萬全ヲ期スル上ニ於テハ、モウ一段ノ御努力ト御認識ヲ高メテ戴カナケレバ中々困難デアル、法ノ内容其ノモノニ付テ私ハ議論スルノデヤアリマセヌ、兎ニ角一般ニ出テノ馬ニ對スル愛好心ヲ全ク捨テシマルト云參リマシタ所ノ補助金等ニ付テハ此ノ邊

フヤウナコトハ、嚴ニ監視スル必要ガアラデヤラウト云フ所ニ無茶ガアル、幾ラ河川ノ改修ノ工事ヲヤリマシテモ、僅カノ金モ度堤防ヲ造ツテモ同ジコトデス、三十圓ヤ四十圓ノ金デ、三十錢、四十錢ノ曳付料ヲヤツテ見タ所ガ、陸軍方ガ來テコンナ瘦セコケタ馬ヲ何故曳付ケルカト言ツテ見タ所ガ、サウ云フ小言ヲ言ヘバ言フ程馬ヲ飼フコトヲ止メテ、皆牛ニ代ツテシマフト思フ、斯ウ云フコトヲ根本カラ軍部ト農林省ノ役人ノ、吾々トノ間ニ完全ナ結付キガアツテ、笑ツテ馬ヲ飼フト云フ所ニ持ツテ行クノデナケレバ斷ジテ馬政計畫ハ實現スルモノニアラズト云フコトヲ、私ハ少シ言葉ヲ強ク申上げマシテ、兩當局ノ所見ヲ此ノ際伺ツテ置ク必要ガアルト思フ

○櫻内國務大臣 今河野君ノ御話ノ如ク、總親和即チ農業當事者ト陸軍當局、農林當局、竝ニ實際局ニ當ツテ居ル者ガ相互ニ抱キ合ツテ、サウシテ此ノ事ヲ遂行スルニアラザレバ目的ヲ達スルコトハ出來ヌ、是ハ洵ニ御尤デアリマス、御趣旨ノ通リダト吾吾モ深ク之ヲ考ヘマス、又現在ノ計畫ニ於テ農家ガ利益デアルト云フコトハ少シモ考ヘテ居リマセヌ、全ク陸軍大臣ガ言ハレタ如ク、之ニ於テ十分ナリト云フヤウナコト

ケレドモ、財政ノ關係上今日ハ此ノ程度
デ我慢ラシテ戴イテ國民ノ協力ヲ求メタイ
斯様ニ思フノデアリマス、農家ノ經濟トシ
テ馬ヲ牛ニ代ヘテ働くシタ方ガ利益デハナ
イカ、此ノ點ニ付キマシテハ、多分ニサウ
云フ點ガ思ハレルノデアリマスケレドモ、
今御詫ノ如ク國民ノ愛馬心並ニ國民ガ國防
ニ協力スルト云フ、其ノ觀念ノ下カラ此ノ
案が遂行サレ得ルト、斯様ニ吾々考へテ居リマ
ルノデアリマス、唯如何ニモ物價ノ騰貴ニ
連レマシテ飼料其ノ他ガ騰貴シツツアルコ
トニ付キマシテハ、深ク吾々ハ考へナケレ
バナラヌ點デアルト、斯様ニ考へテ居リマ
ス

○河野委員 簡單ニモウ一點伺ヒタイ、誇

イヤウデアリマスケレドモ、今大臣カラモ
結構ナ御答辯デ私モ満足スル者デアリマス、
併シ何トシテモモウ少シ御調査ラシテ戴カ
ナケレバナラヌ點ガ多々アルト思フ、例ヘ
バ此ノ間モ承ツタ百圓ノ調査ノ如キモ、昭
和十二年度ノ調査ヲ以テ豫算ヲ此ノ際決メ
ラレタト云フヤウナコトハ、私ハ適當デナ
イト思フ、何處ノ豫算ニシテモ現在ノ物價
ヲ基準ニシテ決メルモノダ、農家ノ馬ヲ飼
フ經費等モ現在幾ラ掛ルカト云フコトヲ、
全國ヲ調べナクテモ、大體常識ニ考へテ、

ケレドモ、財政ノ關係上今日ハ此ノ程度
デ我慢ラシテ戴イテ國民ノ協力ヲ求メタイ
斯様ニ思フノデアリマス、農家ノ經濟トシ
テ馬ヲ牛ニ代ヘテ働くシタ方ガ利益デハナ
イカ、此ノ點ニ付キマシテハ、多分ニサウ
云フ點ガ思ハレルノデアリマスケレドモ、
今御詫ノ如ク國民ノ愛馬心並ニ國民ガ國防
ニ協力スルト云フ、其ノ觀念ノ下カラ此ノ
案が遂行サレ得ルト、斯様ニ吾々考へテ居リマ
ルノデアリマス、唯如何ニモ物價ノ騰貴ニ
連レマシテ飼料其ノ他ガ騰貴シツツアルコ
トニ付キマシテハ、深ク吾々ハ考へナケレ
バナラヌ點デアルト、斯様ニ考へテ居リマ
ス

○河野委員 簡單ニモウ一點伺ヒタイ、誇

イヤウデアリマスケレドモ、今大臣カラモ
結構ナ御答辯デ私モ満足スル者デアリマス、
併シ何トシテモモウ少シ御調査ラシテ戴カ
ナケレバナラヌ點ガ多々アルト思フ、例ヘ
バ此ノ間モ承ツタ百圓ノ調査ノ如キモ、昭
和十二年度ノ調査ヲ以テ豫算ヲ此ノ際決メ
ラレタト云フヤウナコトハ、私ハ適當デナ
イト思フ、何處ノ豫算ニシテモ現在ノ物價
ヲ基準ニシテ決メルモノダ、農家ノ馬ヲ飼
フ經費等モ現在幾ラ掛ルカト云フコトヲ、
全國ヲ調べナクテモ、大體常識ニ考へテ、

適當ナル點ガ出テ來ルト思フ、又同時ニ今
日軍ト連絡ヲシテ馬政計畫遂行ノ上ニ、今
ハ分リ切ツタ話デアル、ソシテ麥糠位食ハ
シテ馬ノ曳付ケヲヤルヤウナ百姓ハ一軒モ
ナイ、寧ロ一朝有事ノ際ニ大事ナ馬ヲオ役
ニ立ツヤウニスルト云フ爲ニハ、モツト立
派ナ物ヲ食ハシテ肥ラシテ置イテ曳付ケル、
サウシテ暇ガアレバ馬ヲ乘リ廻シテ、鍛錬馬
ノ會ヘデモ行ツタ時ニ、昔ノヤウニビンヽ
暴レルヤウナコトノナイヤウニシヨウト
云フノデ、努力ヲ拂ツテ居ル、之ニ要スル
手間ダケデモ大抵ノモノデハナイ、ソレヲ
親切ニ考へテヤツテ欲シイ、自分ノ方ノ内
輪ノ豫算ダケハ細カクオ取リニナルガ補助
金ノ豫算ニハ大マカナ點ガアル、斯ウ云フ點
モ細カク計算シテ、基礎ハ是ダケ掛ルガ、
國ニ金ガナイカラ財政上是デ我慢シテ貰フ
ト云フコトニナリマセヌト、言葉ハ過ギル
カモ知レマセヌガ、私ノ言ハントスル本音
モ、次ノ機會マデニハ必ず是等ニ對シテ十
分ナル御認識ト、御調査ヲ以テ臨マレンコ
トヲ切望シテ止マナインデアリマス、此ノ
點ニ關聯シテ尙ホ一言申上ゲマスナラバ、
ト云フコトヲ御願シテ置キマス、ソレカラ農
林大臣ニ申上ゲタイノハ、農村ニ特ニ影響
ノ大キイ輕種地帶ノコトニ付テ、詳シク申
上ゲテ置キマシタカラ、ドウカ御覽ヲ戴キ
マシテ御参考ニ願ヒタイト思ヒマス、ソレ
ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ
ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先刻來軍馬購買ノ實情ニ付キ

マシテ詳シク申上ゲテ置キマシタカラ、ド

ウカ御參考ニ速記錄ニ眼ヲ通シテ戴キタイ

ト云フコトヲ御願シテ置キマスナラバ、

ダケ申上ゲテ、大臣ニ對スル質問ヲ終リマ

ス、アトハ細部ニ付テノ質問デアリマスカ
ラ……

○小笠原委員 私ハ先刻兩大臣ニ對スル質

問ヲ打切ツタノデアリマスガ、大臣ハ御忙

シイコトト思ヒマスノデ私ハモウ申上ゲマ

セヌガ、唯私先

○東委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス、明日午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時四十五分散會

衆議院軍馬資源保護法案外一件
委員會議錄第六回中正誤

貞段行誤正
二〇四二六栗林政府委員栗林説明員

昭和十四年二月二十一日印刷

昭和十四年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局